Pioneer sound.vision.soul

DVD/MD ミニコンポーネントシステム

X-FS9DV
X-FS7DV

MDLP

DVDビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例: など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ（録画終了処理）してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

プラグを抜け

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

プラグを抜け

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

使用環境

水ぬれ禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室での使用禁止

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V以外禁止

- 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

水ぬれ禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解禁止

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

接触禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

● 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

● アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
→ 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
→ BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取りつけてください。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

禁止

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

手の挟みこみに注意

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

注意

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

プラグを抜け

- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

禁止

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(＋)マイナス(－)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出せ

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

禁止

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

注意

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

プラグを抜け

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の特長

1. DVDソフトを臨場感あふれるサラウンド効果で楽しめるバーチャルサラウンド機能を搭載

- 本機に搭載されているバーチャル（仮想）サラウンド技術により、2本のスピーカーとサブウーファーだけで、マルチチャンネルスピーカーシステムで聞いているようなサラウンド効果を楽しむことができます。
- 左右のスピーカーから等距離の位置でお聞きになると、より良い効果が得られます。

■ *X-FS9DV* P105

ドルビー*1ラボラトリーズ社の開発した最新のバーチャル（仮想）サラウンド技術『ドルビーバーチャルスピーカー』により、サラウンド効果を楽しむことができます。

■ *X-FS7DV* P103

SRS Labs, Inc.が開発したバーチャルサラウンド技術『SRS TruSurround*2』により、サラウンド効果を楽しむことができます。

2. お手持ちのヘッドホンで、マルチチャンネルサラウンド音場再生を実現（X-FS9DVのみ） P104

- ドルビーラボラトリーズ社の開発したヘッドホンバーチャル（仮想）サラウンド技術『ドルビーヘッドホン』により、お手持ちのヘッドホンで、マルチチャンネルスピーカーで聞いているような臨場感あふれるサラウンド効果を楽しむことができます。

3. 多彩なメディア、記録フォーマットの再生が可能 P134

- DVDビデオ、音楽CD、CD-R（RW）に記録されたMP3、WMA、JPEGファイルの再生ができます。DVDレコーダーのVRモードで録画したDVD-RWの再生も可能です。また、X-FS9DVはDTS*3フォーマットの音声をスピーカーやヘッドホンで聞くことができます。

4. 5種類の音質設定モード（SFC）を搭載 P106

- 映画DVDソフト、ライブDVDソフトや音楽CDなど、収録されている内容がより楽める5種類の音質設定ができます。

5. 簡単、便利なMD録音機能 P44～47

- CDからMDへスピーディーな2倍速録音がワンタッチボタンでできます。また、長時間録音の可能なMDLP機能により、たとえば80分のMDにLP4モードで320分の録音ができます。

6. 豊富な入出力端子を装備 P15 P129～132

- お手持ちのテレビやビデオデッキの音声を本機のスピーカーで聞いたり、光デジタル出力をAVアンプに接続してマルチチャンネルサラウンドが楽しめます。またプログレッシブ対応テレビをD端子に接続すると、高品位のプログレッシブ再生映像を楽しむことができます。

7. 環境にやさしい設計製品

- スタンバイ中の消費電力を0.1W以下に抑えた設計をしています。また、アンプ基板などには、鉛の含まれていない半田を使用しています。

*1 *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 *TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。*
TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

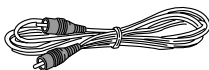
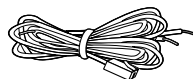
*3 *“DTS”、“DTS Digital Out”及び“DTS Virtual”は米国Digital Theater Systems, Incの登録商標です。*
米国Digital Theater Systems, Incの実施権に基づき製造されています。

付属品を確認しましょう

- リモコン ×１

- 単３形乾電池 ×２（AA/R6P）

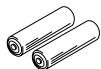
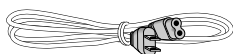
- 電源コード(2 m)×１

- ビデオコード(1.5 m)×１

- FM 簡易アンテナ(1.4 m)×１

- AM ループアンテナ ×１（図は組み立てた状態です。）

- システムケーブル(3 m)×１

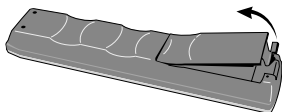
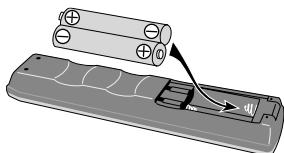
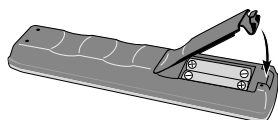
- スピーカーコード(5 m)×２

- スピーカースタンド* ×２

- 滑り止めパッド*(パワードサブウーファー用)×1

＊ スピーカー部と一緒に梱包されています

- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- 簡単ガイド

リモコンに電池を入れましょう

1. 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます。

2. ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます。

3. 裏ブタを矢印の方向に閉めます。

注 意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池に記載されている注意事項もあわせてご覧ください。)

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

はじめに

基本編

応用編

ディスクを使う(DVD/ ビデオ CD /CD /WMA /MP3)

MD を使う

音質設定をする

画質調整をする

タイマーを使う

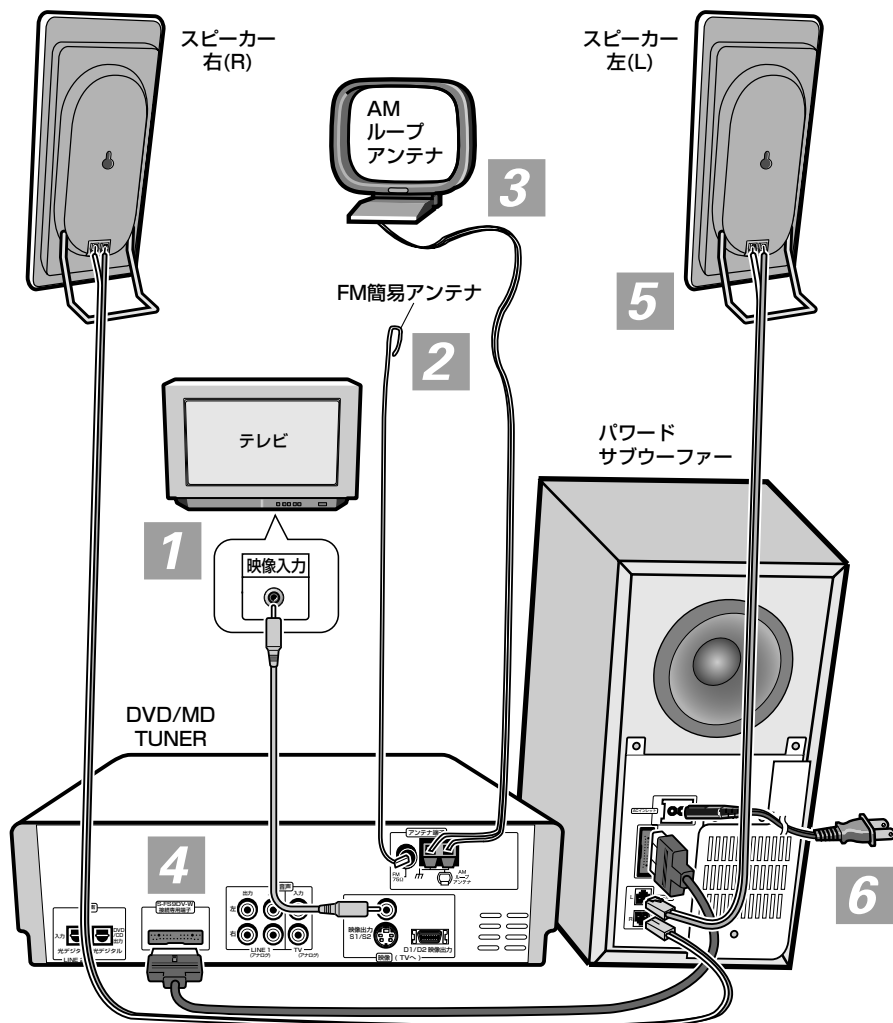
各種の設定をする

外部機器を使う

その他

本機の接続をしましょう

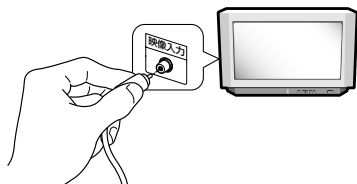
はじめに

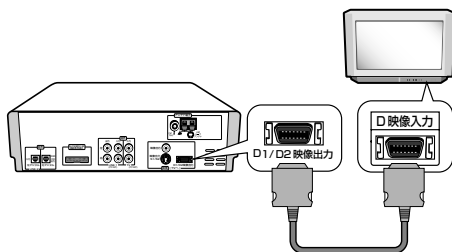
- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないとFM/AM放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また、電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機に外部機器を接続する場合は、129〜132ページを参照してください。
- スピーカーを床や棚に置く場合は、付属のスピーカースタンドを取り付けてください(25ページ)。

スピーカーのイラストは例としてX-FS9DVのものを使用しています。

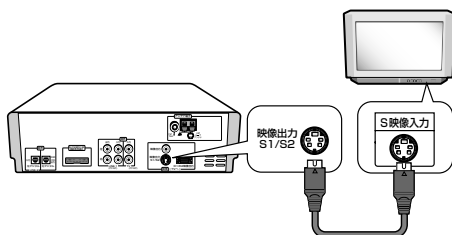
⚠ 注意：
- 本スピーカーを本システム以外の製品で使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 本スピーカー以外のスピーカーを本システムに接続する場合は、インピーダンスが4Ω〜16Ωのものをご使用ください。

1 テレビと接続します

①付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。

②ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。

D映像入力端子付きテレビの場合

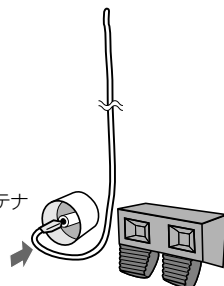
D映像入力端子を持っているテレビの場合、D2端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。本機のD2端子は、テレビのD1、D2、D3、D4のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。
右図のように市販のD映像ケーブルで接続します。

S映像入力端子付きテレビの場合

S映像入力端子を持っているテレビの場合、S1/S2端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。
右図のように市販のS映像ケーブルで接続します。

注 意

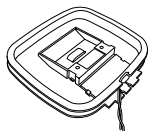
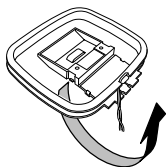
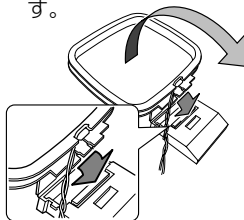
◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

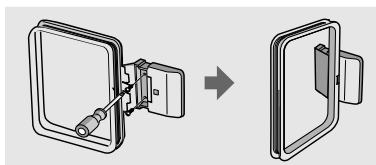
◆ S映像入力端子付きテレビに接続した場合、映像が横方向に引き伸ばしたように見えるときは、取扱説明書の118ページを参照して、S1に設定してください。

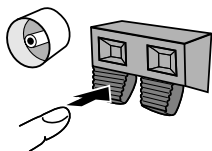
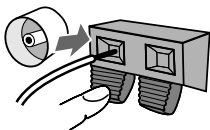
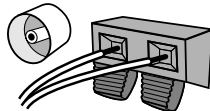
2 FM簡易アンテナを接続します

FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んで使用します。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張っておきます。

3 AMループアンテナを組み立ててから接続します

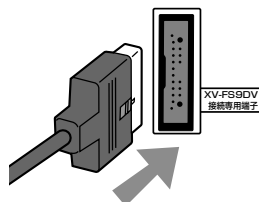
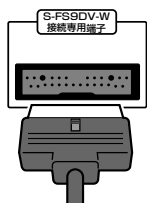
組み立て

① **コードがねじれて巻かれている部分まで**をほどきます。

② 台を外側に出します。

③ 突起部を溝にはめ込みます。

④ 組み立ては完成です。

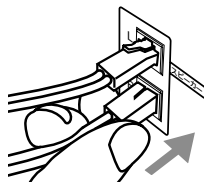
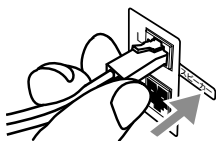
壁に取り付けるには....
ネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

接続

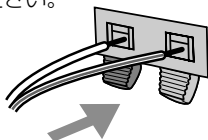
① 指でアンテナ端子のレバーを押します。

② コードの先端を端子に挿入し、端子のレバーを押さえていた指を離します。

③ もう一方のコードも同様に、端子に接続します。

4 システムケーブルを接続します

① システムケーブルをDVD/MD TUNERのS-FS9DV-W (S-FS7DV-W) 接続専用端子に接続します。突起部がある面を上側にして差し込んでください。

② システムケーブルの反対側をパワードサブウーファーのXV-FS9DV (XV-FS7DV) 接続専用端子に接続します。突起部がある面を右側にして差し込んでください。

5 スピーカーコードを接続します

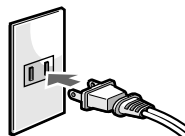
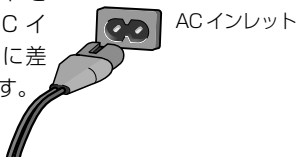
① パワードサブウーファーのスピーカー端子(L) にスピーカーコードを接続します。突起部がある面を上側にして差し込んでください。

② パワードサブウーファーのスピーカー端子(R) にスピーカーコードを接続します。突起部がある面を下側にして差し込んでください。

③ スピーカーコードの反対側をスピーカーに接続します。被覆に灰色の線が入っているコードを赤い端子に、もう一方を黒い端子に接続してください。

④ もう一つのスピーカーも同様に接続します。

6 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込みます

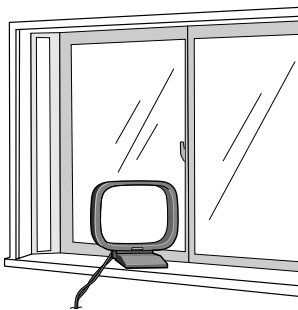
①電源コードを本体のACインレットに差し込みます。

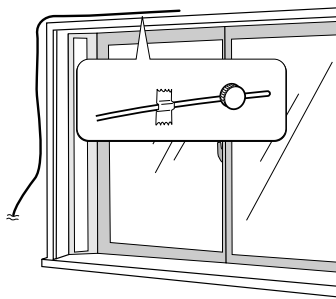
ACインレット

②電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは28ページをご覧ください。

アンテナ接続について

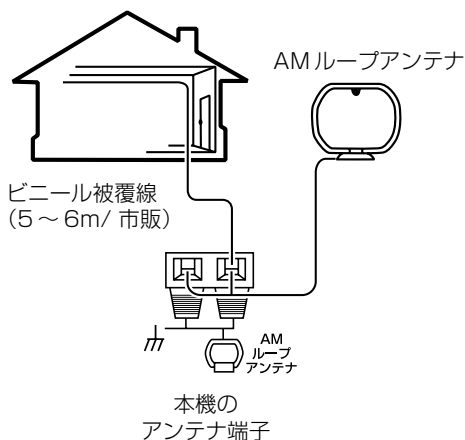
アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

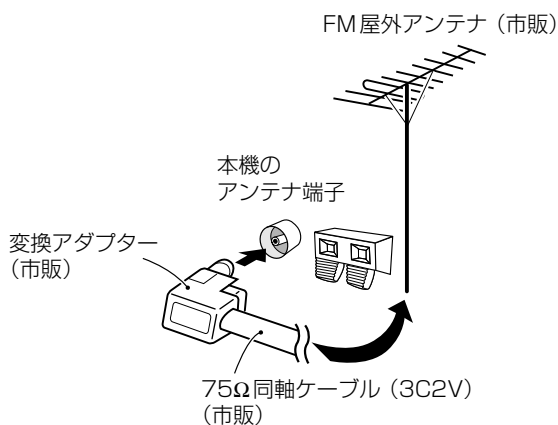
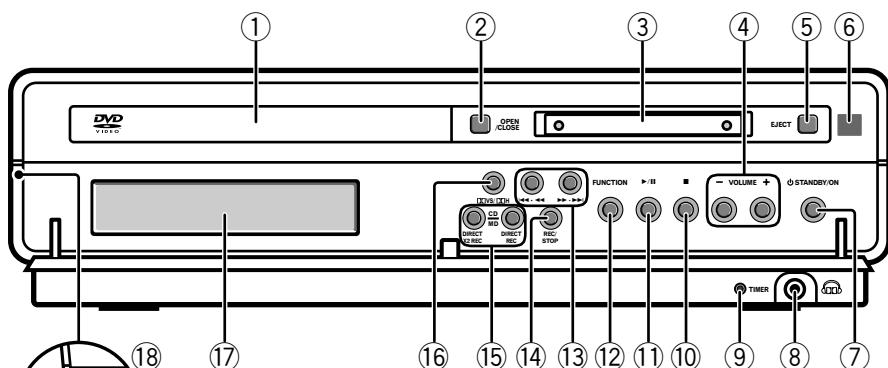
AM ループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。
- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープではり付けます。
- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

各部のなまえとはたらきを覚えましょう

DVD/MD TUNER 部

例) X-FS9DV　DVD/MD TUNER 部

液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が灰色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

① ディスクテーブル（30ページ）

② OPEN/CLOSEボタン
ディスクテーブルを開閉します。

③ MD挿入部

④ 音量ボタン

⑤ EJECTボタン
MD を取り出します。

⑥ リモコン受光部
- 約 7m 以内の距離からここに向けて操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

⑦ 電源⏻ボタン
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

⑧ ヘッドホン端子
市販のヘッドホンを接続します。
インピーダンス16Ω～50Ω（推奨32Ω）、直径 3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑨ タイマーインジケーター
目覚ましタイマー/タイマー録音が設定されていると点灯します。（電源オフ時のみ）

⑩ ■ボタン
停止します。

⑪ ▶/❚❚ボタン
ディスクを再生したり、一時停止します。

⑫ FUNCTIONボタン
押すたびにファンクションが切り換わります。
下記のファンクションが表示窓に表示されます。

DVD/CD
DVD やビデオ CD、CD、WMA、MP3、JPEG などを再生するときに合わせます。

MD
MD を再生するときに合わせます。

FM/AM
FM・AM 放送を聞くときに合わせます。

TV
TV音声入力端子に接続したテレビの音声を聞くときに合わせます。

LINE1/2
本機に接続した外部機器の音を聞くときに合わせます。

⑬ ⏮・◀◀　▶▶・⏭ ボタン
タイトル / チャプター / トラックを早送り、早戻し、または頭出しします。

⑭ REC/STOPボタン（81，112ページ）
MD の録音を開始したり停止したりします。

⑮ CD-MDダイレクト録音ボタン（44，80ページ）
CD を簡単に MD へ録音します。

⑯ ◻◻VS/◻◻Hボタン（X-FS9DVのみ）（104～105ページ）

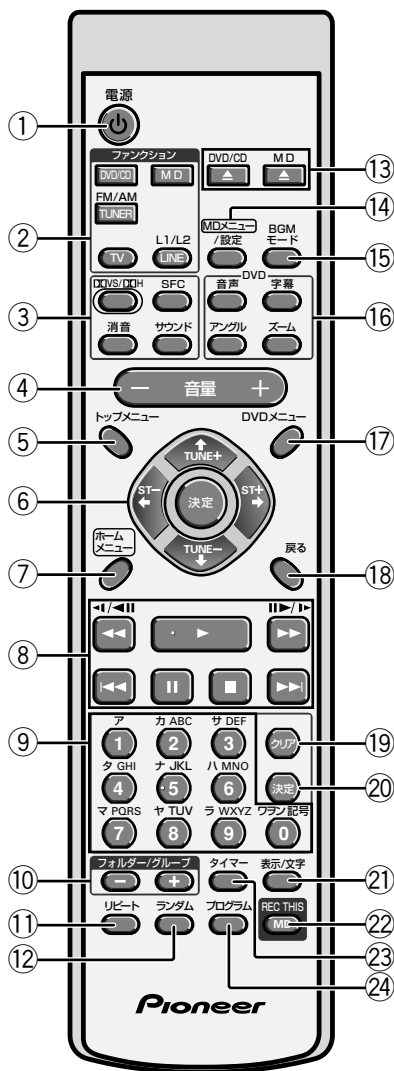
SURROUNDボタン（X-FS7DVのみ）（103ページ）

⑰ 表示窓

⑱ フロントドア
PULL OPEN の左側を手前に引くとドアが開きます。

リモコン

例) X-FS9DV リモコン

① **電源⏻ボタン**

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

② **ファンクションボタン**

以下の5つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスクがセットされている場合は、再生を開始します。

DVD/CDボタン

DVD やビデオ CD、CD、WMA、MP3、JPEG などを再生したり、一時停止します。

MDボタン

MD を再生したり、一時停止します。

TUNER(FM/AM)ボタン

FM・AM放送を聞いたり、FM局とAM局を切り換えます。

TVボタン

TV音声入力端子に接続したテレビの音声を聞くときに使用します。

LINE(L1/L2)ボタン

本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

③ **DDVS/DDHボタン(X-FS9DVのみ)**
（104〜105ページ）

サラウンドボタン(X-FS7DVのみ)
（103ページ）

SFCボタン**（106ページ）**

音質の設定を切り換えます。

消音ボタン

音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

サウンドボタン**（106〜107ページ）**

④ **音量ボタン**

⑤ **トップメニューボタン**

DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

⑥ ⇧ ⇩⇦ ⇨ / 決定ボタン
項目の選択や変更、または DVD などのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑦ ホームメニューボタン
ホームメニュー画面を表示します。操作/設定の途中で画面をオフにします。

⑧ ►ボタン
再生するときに使用します。

■ ボタン
停止するときに使用します。

II ボタン
一時停止するときに使用します。

◄◄/◄I/◄II ボタン
再生中に早戻しをします。また、DVD の一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生をし、押し続けると逆方向にスロー再生をします。

►►/II►/I► ボタン
再生中に早送りをします。また、DVD の一時停止中に押すとコマ送り再生をし、押し続けるとスロー再生をします。

►►I ボタン
次のチャプター / トラックに送ります。

I◄◄ ボタン
再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

⑨ 文字/数字ボタン
見たい / 聞きたいタイトル / チャプター / トラックを指定します。
また、文字を入力するときや、メニュー画面で項目を選択するときにも使用します。

⑩ フォルダー/ グループサーチボタン（55, 98ページ）
WMA/MP3 のフォルダーの頭出しをしたり、グループ登録されたMDのグループの頭出しをするときに使用します。

⑪ リピートボタン（56, 78ページ）

⑫ ランダムボタン（57, 78ページ）

⑬ DVD/CD ▲ボタン
ディスクテーブルを開閉します。

MD ▲ ボタン
MD を取り出します。

⑭ MDメニュー/設定ボタン
各種設定に使用します。

⑮ BGMモードボタン（75ページ）
BGM モードを開始／停止します。

⑯ 音声ボタン（35, 37ページ）
言語、または音声を切り換えます。

字幕ボタン（35ページ）
DVD の字幕言語を切り換えます。

アングルボタン（59ページ）
DVD のアングルを切り換えます。

ズームボタン（59ページ）
映像を拡大します。

⑰ DVDメニューボタン
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、DVD-RW/ ビデオ CD/ CD/ WMA/ MP3/ JPEG では、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑱ 戻るボタン
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑲ クリアボタン（58, 67, 87ページ）

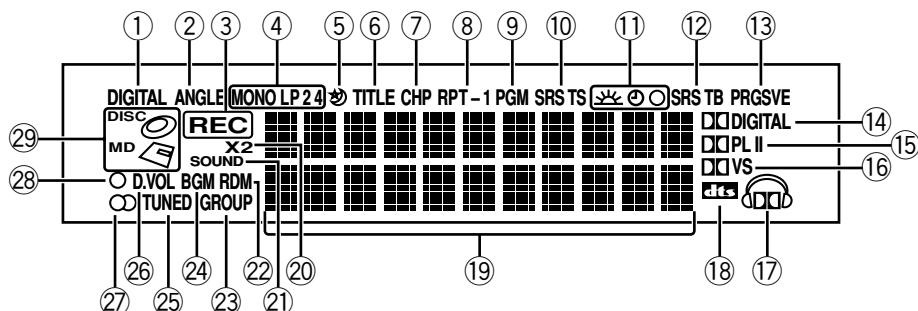
⑳ 決定ボタン

㉑ 表示/文字ボタン（76〜77, 86, 100〜101ページ）
表示の切り換え、文字入力時の文字の種類を切り換えます。

㉒ MD REC THISボタン（47ページ）
いま聞いている CD /WMA /MP3 の曲を、MD に録音します。

㉓ タイマーボタン（29，109〜113ページ）
時計の時刻を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音を設定します。

㉔ プログラムボタン（58, 65, 79ページ）

表示部

① 録音の設定において、デジタル録音が設定されていると点灯します。

② DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。

③ 録音中に点灯します。

④ MDのステレオ長時間録音（LP2モード）設定時にLP2と点灯します。
MDのステレオ長時間録音（LP4モード）設定時にLP4と点灯します。
MDのモノラル長時間録音設定時にMONO LPと点灯します。

⑤ スリープタイマー設定時に点灯します。

⑥ タイトル番号が表示されているときに点灯します。

⑦ チャプター番号が表示されているときに点灯します。

⑧ 全曲リピート再生時にはRPTと点灯し、1曲リピート再生時は、RPT-1と点灯します。

⑨ プログラム設定時、または再生時に点灯します。

⑩ バーチャルサラウンドを選択しているときに点灯します (X-FS7DVのみ)。

⑪ ☀ — 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。

◴ — 目覚ましタイマー、タイマー録音設定時と動作時に点灯します。

○ — タイマー録音設定時に点灯します。また、タイマー録音動作時に点滅します。

⑫ TruBass機能が設定されているときに点灯します。

⑬ D2映像出力でプログレッシブが選択されているときに点灯します。

⑭ ドルビーデジタル音声を再生しているときに点灯します。

⑮ ドルビープロロジックII機能が働いているときに点灯します (X-FS9DVのみ)。

⑯ ドルビーバーチャルスピーカー機能が働いているときに点灯します (X-FS9DVのみ)。

⑰ ドルビーヘッドホン機能が働いているときに点灯します (X-FS9DVのみ)。

⑱ DTS音声を再生しているときに点灯します (X-FS9DVのみ)。

⑲ 文字や数字を表示します。

⑳ 2倍速録音中に点灯します。

㉑ 高音 (Treble) や低音 (Bass) の設定が0でなく、SFCやマナーモードをオンにしているときに点灯します。

㉒ ランダム再生時に点灯します。

㉓ MDのグループ再生機能にて、グループプレイが設定されていると点灯します。（99ページ）

㉔ BGMモード時に点灯します。

㉕ FM/AM放送受信時に点灯します。

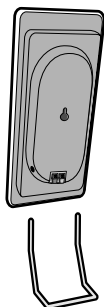
㉖ デジタル録音レベルを0dB以外に設定すると点灯します。

㉗ FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。

㉘ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると点灯します。（49ページ）

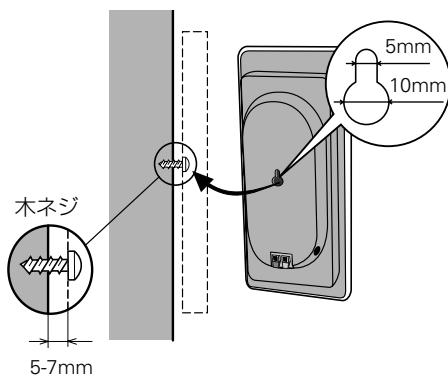
㉙ 再生可能なディスクの挿入中に点灯します。

スピーカースタンドを取り付けるには

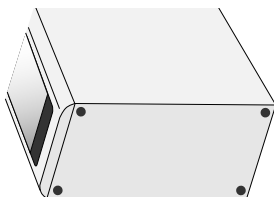
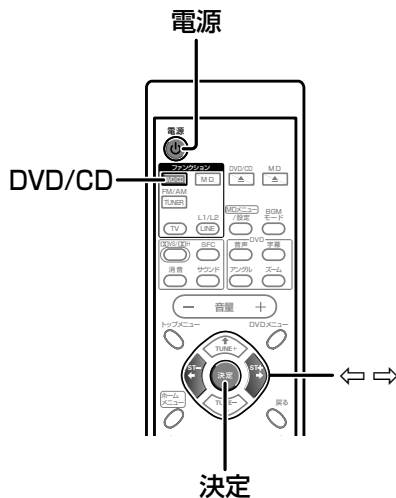
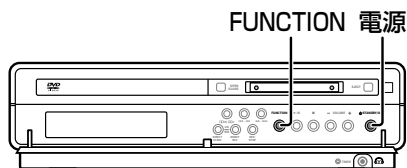
スピーカーを床や棚に置く場合は、付属のスピーカースタンドを2か所の穴に差し込んでお使いください。

例) X-FS9DV スピーカー

スピーカーを壁に取り付けるには

スピーカーを壁に取り付けることができます。

- 壁に取り付ける場合は、重量・取り付け方法によっては落下・転倒などの危険性があります。事故のないように十分注意してください。
- 設置・据え付け場所は重量に十分耐え得る強度を持つ場所を選んでください。強度などが不明の場合は、専門業者にご相談ください。
- 壁に取り付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。
- 据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

＊ スピーカーのイラストは例として X-FS9DV のものを使用しています。
X-FS7DVのスピーカーも同様に取り付けることができますが、取り付け穴の位置にご注意ください。

滑り止めパッドの使いかた

パワードサブウーファーの底面にはり付けてご使用ください。

接続したテレビの種類を選びましょう

DVD を再生する前に、本機と接続したテレビの種類を選びましょう。
この設定画面は、一度設定すると次に電源を入れたときには表示されません。あとから変更する場合は、初期設定の**[テレビ画面]**(116ページ)で設定してください。

1. 電源⏻ボタンを押して、本機の電源をオンにします

電源

2. 接続したテレビの電源を入れます

テレビのリモコン、またはテレビ本体の**電源ボタン**で電源を入れます。

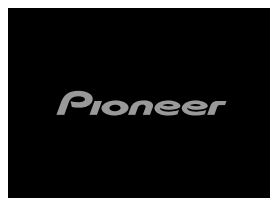
3. テレビの入力を切り換えます

テレビの入力を、本機とつないだ入力端子に切り換えます。

4. DVD/CD ボタンを押します

DVD/CD

本体の**FUNCTIONボタン**でもDVD/CD モードにすることができます。

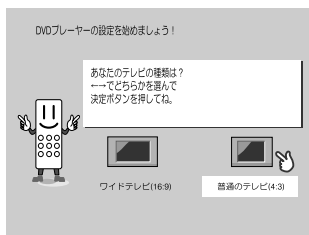
テレビ画面に[Pioneer]が表示されます。

次に下記の設定画面が表示されます。

この画面が表示されなかったときは、初期化の操作をしてください (153ページ)。

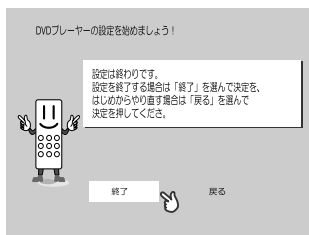
5. 決定ボタンを押します

設定画面の指示にしたがって、本機の初期設定を開始します。

6. 接続したテレビの種類を選びます

⇦ ⇨ で選んでから、**決定ボタン**を押します。

接続したテレビが、[**ワイドテレビ(16:9)**]か[**普通のテレビ(4:3)**]かを選択します。

7. 設定画面を終了します

⇦ ⇨ で[**終了**]を選んでから、**決定ボタン**を押します。

手順6をやり直す場合は、⇦ ⇨ で[戻る]を選んでから、**決定ボタン**を押します。

8. 設定が終了しました！

- DVD の再生→ 30 ページ
- ビデオ CD の再生→ 36 ページ
- WMA/MP3、CD の再生→ 38 ～ 40 ページ
- JPEGファイルの再生→41ページ
- MD の再生→ 42 ページ
- ラジオを聞くとき→ 48 ページ

をご覧ください。

メ モ

▼ DVD/ CD/ WMA/ MP3/ JPEG/ ビデオCDが停止してから本機を数分間操作しないと、スクリーンセーバーが表示（テレビ画面に[]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

本機の電源を切るには

電源ボタンを押すと、表示窓に[See you!]と表示されます。

電源コードをコンセントから抜くときは、表示窓の[See you!]表示が消えていることを確認してください。[See you!]表示中に抜くと工場出荷状態に戻ることがあります。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(14、17ページ)

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(14～15ページ)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲内で操作してください。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体に向けて操作してください。(20～21 ページ)

デモ表示を解除しましょう

はじめに

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。
お買い上げ時は、"Demo On"に設定されています。

一時的にデモ表示を解除するには

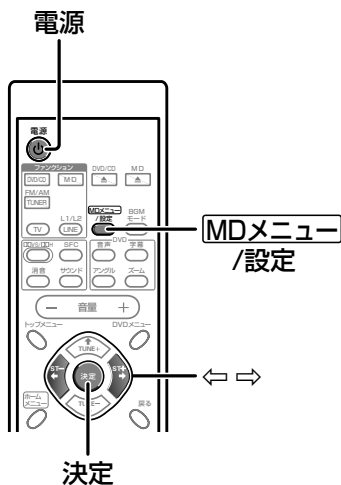
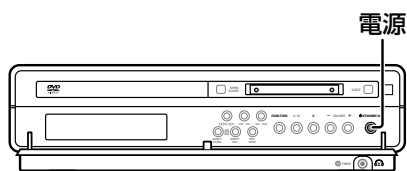
リモコンや本体のいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。この場合は、以下のときに再びデモ表示を行います。
- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- DVD、CD、MDの再生や録音が終了して５分以上何も操作をしないとき（オートデモ）
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

1.

電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Demo Mode" にしてから、決定ボタンを押します

Demo Mode

4.

⇦ ⇨ で"Demo Off"にしてから、決定ボタンを押します

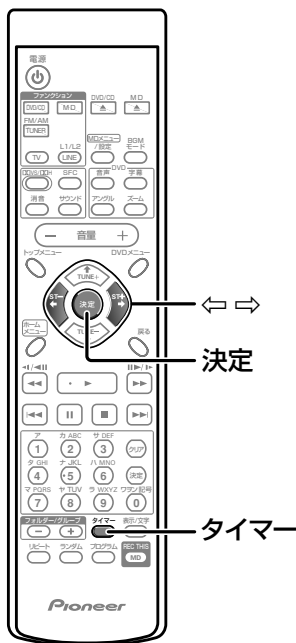
再びデモ表示を設定する場合は、"Demo On"にしてから**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q ： デモ表示をしない！
→ ２９ ページにて時刻を設定すると、 オートデモ表示を行いません。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

時計を合わせましょう

お買い上げ時の時計表示は、12 時間表示です。
時計を合わせていないと、タイマー動作（109 ～ 113 ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を 24 時間表示に切り換えることもできます。（128 ページ参照）

例）午後 6 時 40 分に合わせる場合

1. タイマー

リモコンのタイマーボタンを押します

すでに時計を設定している場合は、時計表示中にもう一度**タイマー / 時計ボタン**を押してください。

2.

⇦ ⇨ で "Clock Adj." を選んでから、決定ボタンを押します

Clock Adj.

3.

⇦ ⇨ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"6 pm" にします。

6 : 00 pm

4.

ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"40" にします。

6 : 40 pm

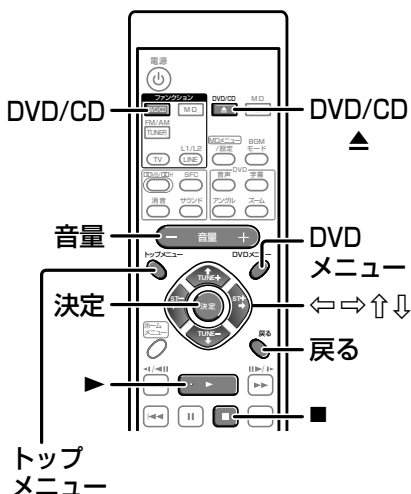
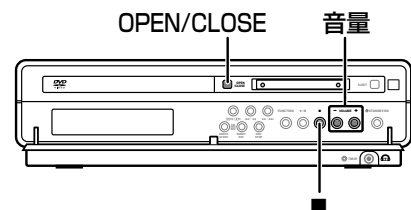
「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

時計を確認するには

タイマー

タイマーボタンを押します

時計を 5 秒間表示します。
電源がオフ（スタンバイ状態）の場合でも、表示部が点灯して、5 秒間時計の表示をします。
停電したり、電源コードを抜くと、時計を確認することができません。必ず時計合わせを行ってください。

DVD を再生しましょう

あらかじめ、接続したテレビの電源や入力切り換え、本機の電源を入れておきます。

1. OPEN/CLOSE (DVD/CD ⏏) ボタンを押します

ディスクテーブルが出てきます。

2. DVD をセットします

印刷面を上にし、ディスクテーブルのミゾに合わせて、DVD をセットします。

3. OPEN/CLOSE (DVD/CD ⏏) ボタンを押して、ディスクテーブルを閉めます

ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。

4. DVD/CDボタンを押して、再生を開始します

リモコンの►**ボタン**でも操作できます。

5. 音量を調整します

はじめて使用する場合や電源コードを抜いたり停電のあとには、音量はゼロになっています。

停止するには

■ ボタンを押します

■ **ボタン**を 1 回押すと表示窓に、

Resume

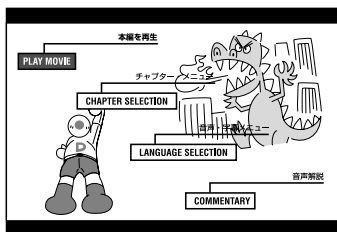
と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVD を取り出しても停止した場所はそのまま記憶され、次回に同じディスクを入れて ► **ボタン**を押すと記憶した場所から再生を始めます(ラストメモリー機能)。停止中に■**ボタン**をもう一回押すとリジューム機能またはラストメモリー機能が解除されます。次に再生したときは、DVDの最初から再生します。

メ モ

▼ 本機では５枚分のDVDディスクの停止した場所を記憶できます。５枚を超えると一番古いメモリーから消去されていきます。

▼ VRモードで記録されたDVD-RWでは、ラストメモリー機能は動作しません。

DVDのメニュー画面が表示されたら

再生が始まると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。

選択した項目を、決定するときに押します。

再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。

DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。

DVDの最上層のメニュー画面を表示するときに押します。

- 映画などのDVDメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVDによっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切り換えることもできます。（35ページ）

メ モ

▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

▼ DVDのメニューによっては、リモコンの**文字/数字ボタン**にて番号を選んで再生できるものもあります。

注 意

◆ 2層(Dual Layer)のDVDの場合、1層から2層目に切り換わるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

◆ ズーム(59ページ)で映像の拡大中にDVDのメニューを表示させた場合、メニューの項目を選択することはできません。

Q&A

Q1：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

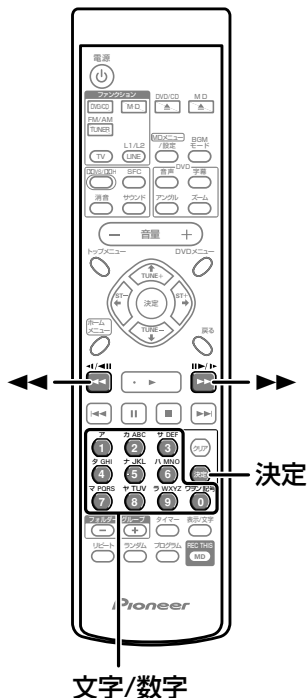
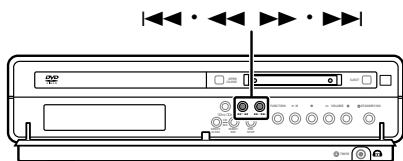
→ DVDが汚れていませんか？
DVDをクリーニングしてください。

→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？

→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。（137, 145ページ）

Q2：音が出ない！

→ ボリュームを上げてください。

→ DTSで記録されている音声は、出力されません。音声ボタンを押して、その他の記録フォーマットを選んでください（X-FS7DVのみ）。（35ページ）

ちょっと場面を進めたいときは

本体の▶▶・▶▶|ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ▶▶]とテレビ画面に表示され、早送りをします。

リモコンの ▶▶ ボタンを押します

早送りをします。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで進めたら ▶ **ボタン**を押します。

ちょっと場面を見逃したときは

本体の|◀◀・◀◀ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示され、早戻しをします。

リモコンの ◀◀ ボタンを押します

早戻しをします。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで戻したら ▶ **ボタン**を押します。

DVDのタイトルやチャプターを指定して再生してみましょう

DVDのメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます**（ダイレクトサーチ機能）**。

タイトルを指定して再生するには・・・

1. 0〜9

停止中に、文字/数字(0〜9)ボタンでタイトル番号を入力します

たとえば、タイトル5を再生するには、5を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトルを指定して再生できないディスクもあります。

2.

決定ボタンを押します

チャプターを指定して再生するには・・・

1. 0〜9

再生中に、文字/数字(0〜9)ボタンでチャプター番号を入力します

たとえば、チャプター12を再生するには、1, 2 を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。

2.

決定ボタンを押します

すぐに再生を始めたいときに押します。

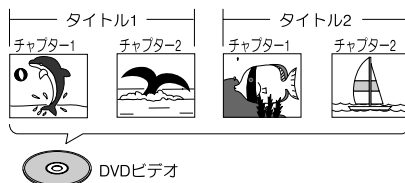
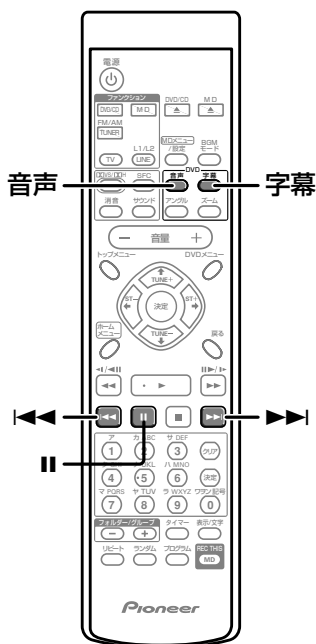
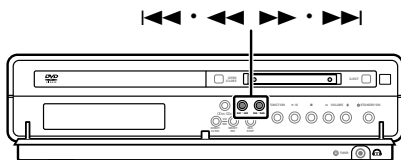
メモ

▼ タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、一般的に1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

タイトル1
チャプター1　チャプター2

タイトル2
チャプター1　チャプター2

DVDビデオ

DVD のチャプターのスキップ(頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。

見たいチャプターに進むには･･･

再生中に、本体の▶▶・▶▶|ボタンを短く押します

次のチャプターに進みます。

再生中に、リモコンの▶▶|ボタンを押します

次のチャプターに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･

再生中に、本体の|◀◀・◀◀ボタンを短く押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2回押すと1つ前のチャプターに戻ります。

再生中に、リモコンの|◀◀ボタンを押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2回押すと1つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと休憩というときは

IIボタンを押して、一時停止します

通常の再生に戻すときは もう一度同じボタンを押すか、▶ **ボタン**を押します。

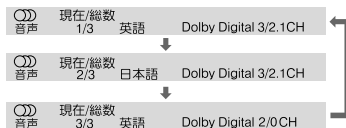
字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしてみましょう（お好みの音声と字幕に切り換える）

DVDの中には、複数の音声や字幕が収録されているものがあります(ディスクによって収録されている言語数は異なります)。
ここでは英語と日本語が収録されているディスクを例に説明します。
ディスクによってはリモコンで音声や字幕を切りかえられないものがあります。このようなときは、DVDのメニュー画面で切り換えてください (31 ページ)。
VR モードで記録された DVD-RW では、主、副、主 / 副音声を切り換えることができます(X-FS7DV のみ)。
X-FS9DV の音声切り換えについては、デュアルモノの設定(105 ページ)をご参照ください。

音声を切り換えるには

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されているDVDでは、他の言語を選ぶこともできます)。

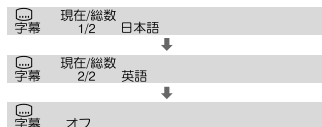
DVD再生中に、リモコンの音声ボタンを押す

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは 146 ページをご覧ください。

字幕を切り換えるには

ここでは字幕はオフを選びます(もちろん複数の字幕言語が収録されている DVD では、他の字幕言語を選ぶこともできます)。

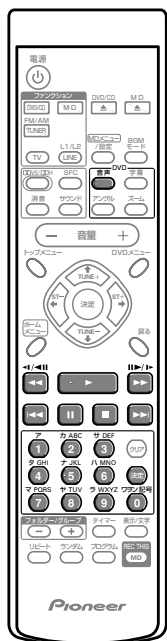
DVD再生中に、リモコンの字幕ボタンを押す

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

字幕が収録されていないときは、[ー / ー]が表示されます。

注 意

◆ ここで切り換えた音声や字幕の設定は、リジューム機能(30 ページ)を解除すると初期設定(119～121ページ)で設定した状態に戻ります。また、VR モードで記録された DVD-RW の場合、主、副、主 / 副音声は初期設定に戻りません。
◆ 再生中のDVDによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
◆ 本機のスピーカーやヘッドホンからは、DTS で記録された音声を出力することはできません。音声は、DTS 以外を選んでください (X-FS7DV のみ)。

ビデオ CD を再生しましょう

再生する前に 30 ページを参照して、ディスクをセットしてください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	・ ►	ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については次ページをご覧ください。
停止する	■	本体の表示窓に[Resume]と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。記憶した内容は、ディスクを取り出したり、ファンクションを切り換えたり電源をオフにすると解除されます。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または❚❚ **ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄ ►►❙	押した回数だけスキップします。
早送りする	❚❚►/❚► ►►	スキャン中はTV画面に[**スキャン1 ►►**]と表示されます。早送りの速さを２段階(**スキャン１→スキャン2**)に切り換えられます。通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
早戻しする	◄❚/◄❚❚ ◄◄	スキャン中はTV画面に[**スキャン1 ◄◄**]と表示されます。早戻しの速さを２段階(**スキャン１→スキャン2**)に切り換えられます。通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0～9	見たいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約２秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q1 : ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオ CD は再生できないことがあります。

Q2 : ラストメモリー機能が動作しない。

→ ビデオCDでは、ディスクを取り出すと停止したトラックの位置情報は解除され、ラストメモリー機能は動作しません。

メニュー画面から再生しましょう(PBC 再生)

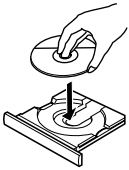
ビデオ CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1. PBC 再生対応のビデオ CD ディスクをセットしてから、DVD/CD ボタンを押して再生します

DVD/CD

メニュー画面が表示されます。

ビデオCDカラオケ

1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

2. 文字 / 数字ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します

0〜9

トラックを選んでから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に、⏮または⏭ボタンを押します

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC 再生を解除して再生する）

停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

1.

⏮、または ⏭ ボタンで選択します

1.

決定

文字 / 数字ボタンで選択してから決定します

トラックを選んでから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
たとえば、トラックの12曲目を再生するには、1, 2 を押してから、**決定ボタン**を押します。

音声を切り換えるときは

音声ボタンを押します

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

→ステレオ → 左チャンネル → 右チャンネル →

ステレオの表示例

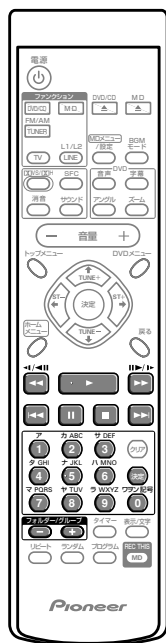
音声　ステレオ

メ モ

▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

基本編　ディスクを使う

WMA/MP3 ファイルを再生しましょう

再生する前に 30 ページを参照して、ディスクをセットしてください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	WMA/MP3では、リジューム機能（30 ページ）は働きません。次回は停止した箇所のあるフォルダーの 1 曲目から再生を開始します。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または ❚❚ **ボタン**を押します。
頭出しする	❘◄◄ ►►❘	押した回数だけスキップします。
早送りする (1 段階のみ)	❚❚►/❚► ►►	早送り中は TV 画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。また、WMA ファイルでは音声は出力されません。通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
早戻しする (1 段階のみ)	◄❚/◄❚❚ ◄◄	早戻し中は TV 画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。また、WMA ファイルでは音声は出力されません。通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0〜9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。再生中のフォルダー内のトラックのみ指定できます。
フォルダーを指定する	フォルダー/グループ − ＋	再生中に押すと、フォルダーを 1 つ送ったり、戻したりします。このときトラックは 1 になります。

Q&A

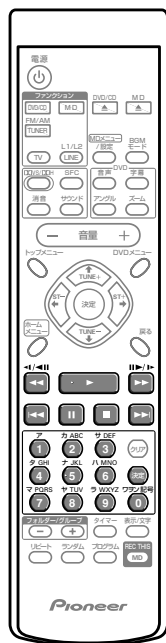
Q ：WMA/MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 画面に**[このフォーマットは再生できません]**と表示されていませんか。この場合、以下のような原因が考えられます。
- ・記録したディスクがISO9960フォーマットに準拠していない。
- ・サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないWMAファイルを再生している。ただしサンプリング周波数が32kHzでも、記録ビットレートが20kbpsのWMAファイルは再生することができません。
- ・可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生している。
- ・DRMコピープロテクト＊のかかったWMAファイルを再生している。
- ・MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないMP3ファイルを再生している。

→ ディスクにWMA/MP3ファイルとJPEGファイルが混在していませんか。**[フォトビューワー]**の設定を変更してください(126ページ)。

＊DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する等の機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

CD(CD-R/CD-RW)を再生しましょう

再生する前に 30 ページを参照して、ディスクをセットしてください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	▶	1 曲目から再生します。
停止する	■	CD(CD-R/RW)では、リジューム機能（30ページ）は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に ▶、または II **ボタン**を押します。
頭出しする	I◀◀ ▶▶I	押した回数だけスキップします。
早送りする	II▶/I▶ ▶▶	スキャン中は TV 画面に[**スキャン1 ▶▶**]と表示されます。早送りの速さを2段階（**スキャン1 →スキャン2**）に切り換えることができます。早送り中に通常の再生に戻すには、▶ **ボタン**を押します。
早戻しする	◀I/◀II ◀◀	スキャン中はTV画面に[**スキャン1 ◀◀**]と表示されます。早戻しの速さを 2 段階（**スキャン 1 → スキャン2**）に切り換えることができます。早戻し中に通常の再生に戻すには、▶ **ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0～9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。トラック 12 を選択する場合は、**文字 / 数字ボタン**の **1,2** を押します。

Q1 : CD-R/RW が再生できない。

→ パソコンで記録された CD-R/RW は再生できないことがあります。

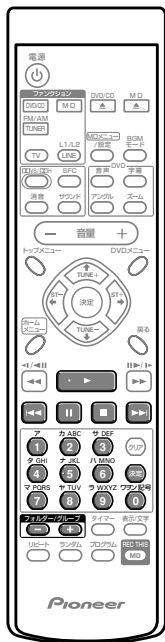
Q2 : 頭出し(スキップ)ができない。

→ ファイナライズされていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWでは頭出し(スキップ)ができません。

Q3 : トラックを指定して再生できない。

→ ファイナライズされていない音楽 CD フォーマットの CD-R/RW ではトラックを指定して再生することができません。

JPEG ファイルを再生しましょう

再生する前にディスクをセットして(30 ページ参照)、**[フォトビューワー]** が **[オン]** に設定されていることを確認してください(126 ページ参照)。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	▶	ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。 JPEG 画像が次々と表示されます(スライドショー)。
停止する	■	次回は停止した箇所のあるフォルダーの 1 番目の画像から再生を開始します。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に ▶、または **❚❚ ボタン**を押します。 ファイル読込中は操作できません。
画像を切り換える	⏮ ⏭	スライドショー表示中は、前/次の画像に切り換わります。一覧(フォトブラウザー)表示中は、画像が 9 枚ずつ切り換わります(73ページ)。
画像を指定して再生する	0〜9	見たい画像の番号を**文字/数字ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(番号を選択してから 2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 例 12番目の画像を再生するには**1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。
フォルダーを指定する	フォルダー/グループ − ＋	再生中に押すとフォルダーを 1 つ送ったり、戻したりします。このときそのフォルダーの 1 番目の画像が選ばれます。

基本編

ディスクを使う

Q&A

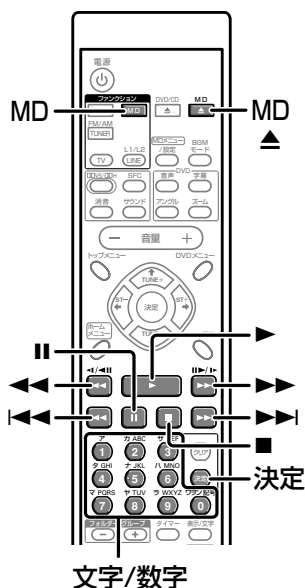
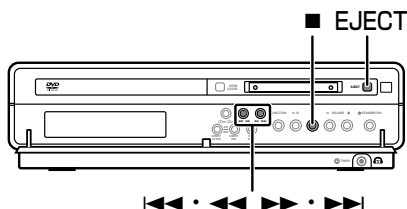
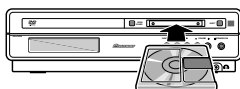
Q: JPEG ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ JPEGファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。

→ 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースライン JPEG ファイル。(135 ページ)。

→ [フォトビューワー]が[オフ]に設定されていませんか？(126 ページ)

MDを再生しましょう

1. MDをセットします

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。
再生専用MDや誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると、自動的に再生を開始します。

2. MDボタンを押します

再生を開始します。

再生を一時停止するには

リモコンの ‖ **ボタン**を押します。
通常の再生に戻すときは もう一度同じボタンを押すか、► **ボタン**を押します。

再生をやめるには

■ **ボタン**を押します。

MDを取り出すには

EJECT

EJECT (MD ⏏) **ボタン**を押します。

曲をスキップしましょう

前の曲に戻るには

⏮・◀◀

本体の⏮・◀◀**ボタン**を短く押します。リモコンでは、⏮**ボタン**を押します。
再生中に1回だけ押すと、再生している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには

本体の►► · ►►I**ボタン**を短く押します。リモコンでは、►►I**ボタン**を押します。

早送り・早戻しをしましょう

再生を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには

再生中に 本体の►► · ►►I**ボタン**を押し続けます。リモコンでは、再生中に►► **ボタン**を押し続けます。
再生を開始するときは、ボタンを離してください。

早戻しするには

再生中に 本体のI◄◄ · ◄◄**ボタン**を押し続けます。リモコンでは、再生中に◄◄ **ボタン**を押し続けます。
再生を開始するときは、ボタンを離してください。

トラックを指定して再生しましょう

1. 聞きたい曲の曲番号を文字 / 数字ボタンで選びます

（例）25 曲目を選曲する　：

108 曲目を選曲する ：

番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

2. 決定ボタンを押します

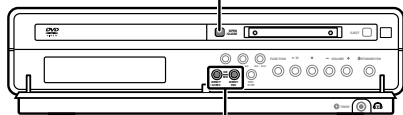
決定

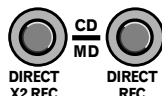
すぐに再生を始めたいときに押します。

注 意

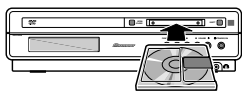
◆ 次の場合はトラックを指定する操作はできません。
　・ランダム再生中（78 ページ参照）
　・プログラム再生中（79 ページ参照）
◆ グループプレイモード時は、再生中のグループ内に限りトラックを指定することができます。

CDをMDに録音しましょう(ダイレクト録音)

2倍速録音は、CDからのデジタル録音のみ可能です。

CDの全曲をまるごと録音しましょう

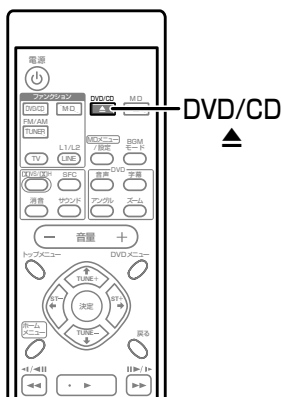
ボタンをひとつ押すだけで、セットされているCDの全曲を自動的に録音します。
また、CDの好きな曲だけをMDに録音する場合は、80ページを参照してください。

1. 録音もとのCDをセットします

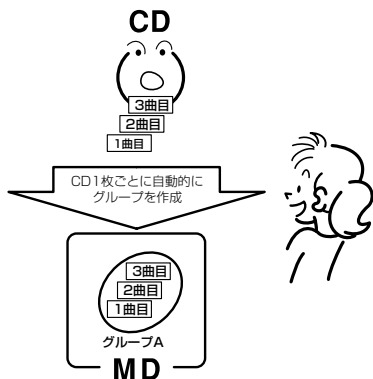
OPEN/CLOSE (DVD/CD▲) ボタンを押して、ディスクテーブルを開けてからディスクをセットします。

2. 録音用MDをセットします

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

3. 通常録音をするときはCD-MDダイレクト録音ボタンを、2倍速録音をするときはCD-MDダイレクト録音(2倍速)ボタンを押します

CD
MD
DIRECT
X2 REC
DIRECT
REC

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。
録音を中止する場合は、■ボタンまたはREC/STOPボタンを押します。

メ モ

▼ お買い上げ時は通常のステレオ録音に設定されています。LP2またはLP4モード（46ページ参照）に設定すると、より長時間録音ができます。
▼ WMA/MP3ディスクでは、直前に再生していたフォルダーの先頭曲から録音することができます。ただし、アナログ録音となります。
▼ **セットしたディスクをまるごと録音すると、CD1枚ごとに自動でグループ登録(93ページ参照) されます。**

注 意

◆ DVDやビデオCDはダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音（81ページ参照）となります。

Q&A

Q ： "Can't REC" と表示が出て録音できない！

→ デジタル録音されたCD-R/CD-RWを、デジタルでMDに録音することはできません。142ページを参照して、アナログ録音に切り換えてください。

2倍速録音での制限について

CDからMDへ2倍速録音を行った場合、録音を開始した時点から74分間は、同じCDを2倍速で録音できないようになっています。これは、HCMS (Hi-speed Copy Management System)により管理されているためです。この間に禁止されているディスクを録音する場合は、通常の録音を行ってください。

HCMSにより管理されている74分の間に同じディスクを再び2倍速録音すると、以下の例のように禁止残り時間を表示します。禁止残り時間の間は、禁止されているディスクの2倍速録音は動作しません。

```
Can't  X2REC
 Wait  39min
```

注 意

◆ 2倍速録音の禁止時間内であっても、異なるディスクであれば合計40枚まで、2倍速録音を行うことができます。
◆ 2倍速録音時は、光出力からは何も出力されません。
◆ アナログ録音設定のとき、2倍速録音はできません。デジタル録音に切り換えてください(142ページ参照)。
◆ 2倍速録音中、スピーカーからは2倍速で音楽が流れます。不快な場合は音量ボタンで音量を調節してください。

長時間録音（MDLP）の設定をするときは

MDに録音する設定を、通常のステレオ録音の約2倍（LP2モード）または4倍（LP4モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音)。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、**LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。**
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
Stereo	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO LP	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4*	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ .... 最良の音質です
○ .... ◎ の音質より劣ります
△ .... ○ の音質より劣ります

＊ *特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。*
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

メ モ

▼ お買い上げ時の録音モードは、Stereo(通常のステレオ録音)に設定されています。
▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

1. 録音設定したい録音元の入力を選びます

CDからの録音の場合は、**DVD/CDボタン**を押してから**■ボタン**を押します。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

MDメニュー/設定

3. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

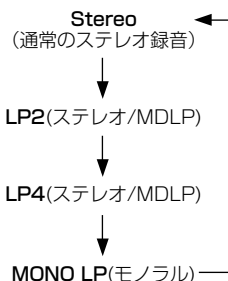
中止する場合は、■**ボタン**を押します。

4. ⇦ ⇨ で "REC Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

REC Mode

中止する場合は、■**ボタン**を押します。

5. ⇦ ⇨ で録音のモードを選んでから、決定ボタンを押します

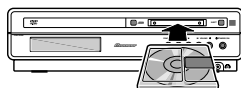
以下のように切り換わります。

LP2 モードを選んだときの表示

LP2

LP2 モードに設定した場合は、**LP2** が点灯します。
LP4 モードに設定した場合は、**LP4** が点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、**MONO LP** が点灯します。

CDの1曲だけを録音しましょう（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。

1. 録音用MDをセットします

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したいCDの曲の再生中に、REC THISボタンを押します

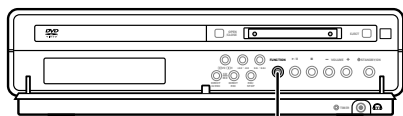
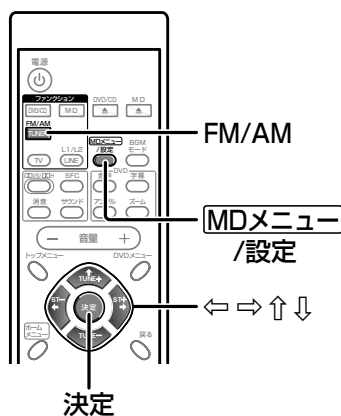
曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■**ボタン**または**REC/STOP ボタン**を押します。

メモ

▼ WMA/MP3ディスクでも同様に操作することができます。ただしアナログ録音となります。

注意

◆ CDの1曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。
◆ 録音は1倍速となります。

FM・AM放送を聞きましょう

FUNCTION

アンテナが接続されていないと、FM・AM放送を聞くことはできません。16、18～19ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. FM/AM ボタンを押して FM・AM 放送を聞くことができる状態にします

FM/AM
TUNER

FUNCTION ボタンを数回押してもFM・AMモードにすることができます。

FM 76.00MHz

押すたびに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときは AM を選択してください。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます

TUNE+

周波数の合わせ方（チューニングのしかた）には、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押して、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ **ボタン**を押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を 1 回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送に雑音が多いときは

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える "Auto" に設定されています。

1. FM/AM ボタンを押して、FM 放送にします

FM/AM
TUNER

FUNCTIONボタンを数回押してもFMモードにすることができます。

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で "FM Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

FM Mode

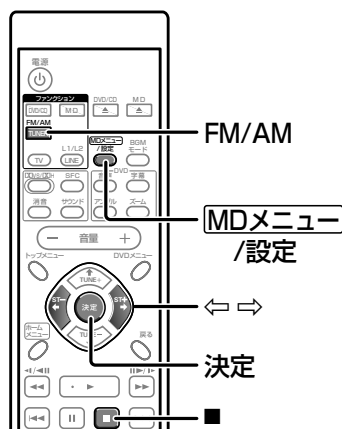
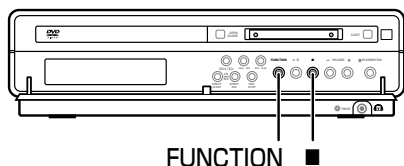
5. ⇦ ⇨ で "Mono" を選んでから、決定ボタンを押します

表示部に、" ○ " と点灯します。
"Auto" に設定する場合は、"Auto" にします。

メ モ

- ▼ 放送局を受信すると、表示部に "TUNED" が点灯します。FM ステレオ放送のときは " ↀ " も一緒に点灯します。
- ▼ 本機はテレビ放送の1～3チャンネルの音声も受信できます。FM(76.0MHz～90MHz)→TV1ch→TV2ch→TV3ch と受信されます。
- ▼ テレビ放送の音声はモノラルになります。二カ国語放送は主音声のみとなります。

注 意

- ◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- ◆ "Auto" を選択している場合でも、モノラル放送の場合や電波の弱い場合は、" ↀ " は点灯しません。

FUNCTION ■

放送局を自動的に選局して記憶させましょう

受信できるFMとAMの放送局を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。
FM局を記憶してからAM局の記憶を始めます。

1. FM/AM TUNER

FM/AMボタンを押してFM・AM放送を聞くことができる状態にします

FUNCTIONボタンを数回押してもFM･AMモードにすることができます。

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"Tuner Setup"を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4.

ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で"Auto Preset"を選んでから、決定ボタンを押します

Auto Preset

FM・AM放送の受信を開始します。はじめにFM局を受信してステーション1から順に記憶し、そのあとAM局を受信して記憶を開始します。

5.

放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります

ST− 1 SET ?

6.

記憶させる場合は、決定ボタンを押します

記憶させない場合は**クリアボタン**を押します。**決定ボタン**を押すと、次の放送局の受信を開始します。

途中で終了する場合は、■ボタンを押します

30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させましょう

FM・AM放送あわせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

例）FM82.5MHzをステーション3へ記憶させます

1.

記憶したい放送局を受信します

48ページを参照して受信します。

例の場合は、FM 82.5MHzを受信します。

```
FM  82.50MHz
```

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んでから、決定ボタンを押します

```
Tuner  Setup
```

4.

⇦ ⇨ で "ST.Memory" を選んでから、決定ボタンを押します

```
ST . Memory
```

5.

⇦ ⇨ で記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは1〜30まであります。

```
ST−  3    ⇦⇨
```

6.

決定ボタンを押して記憶させます

FM 82.5MHzがステーション3に記憶されました。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
- ◆ ステーションに自動で放送局を記憶させる場合、FMの受信範囲は76MHzから90MHzの範囲内だけです。

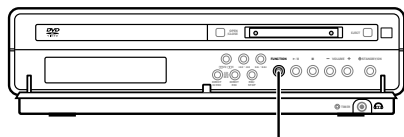
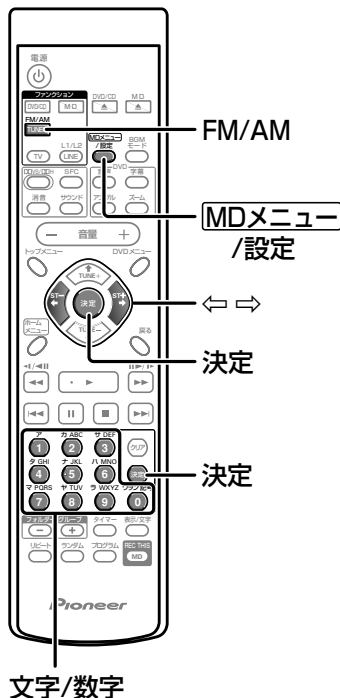
FUNCTION

FM/AM

MDメニュー/設定

⇦ ⇨

決定

決定

文字/数字

記憶させた放送局を呼び出しましょう

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。50～51ページを参照してください。

1. FM/AM

TUNER

FM/AMボタンを押してFM・AM放送を聞くことができる状態にします

FUNCTIONボタンを数回押してもFM･AMモードにすることができます。

2.

⇦ ⇨ を押して、記憶したステーションを選びます

ST – 1
FM 79.50MHz

リモコンの文字/数字ボタンで選ぶことができます

1.

ステーション番号と同じ文字/数字ボタンを押します

（例）ステーション25 ：
ステーション18 ：
8

2.

決定ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

文字/数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定ボタン**を押さなくても選ぶことができます。

記憶させた放送局に名前をつけましょう

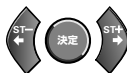
記憶させた放送局（ステーション）に、11文字以内で名前をつけることができます。
文字の入力方法については、86～87ページを参照してください。

1. 名前をつけたいステーションを選びます

52ページを参照してください。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んでから、決定ボタンを押します

ST– 決定 ST+

Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で "ST. Name" を選んでから、決定ボタンを押します

ST . Name

5. 文字を入力して、ステーションに名前をつけます

文字の入力は、86～87ページを参照してください。

6. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

メ モ

▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。受信周波数を確認したいときは、**表示/文字ボタン**を押すと、選ばれているステーションの周波数を約2秒間表示します。

DVD やビデオ CD のスロー再生をする

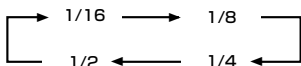
1. 再生中に、❚❚ ボタンを押して、一時停止します

2. ❚❚▶/❚▶ ボタンを押し続けます

[スロー 1/16 ❚▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには・・・

スロー再生中に ❚❚▶/❚▶ ボタンを押します

押すたびに下記のように速さが変わります。

通常の再生に戻すには・・・

▶ ボタンを押します

DVD で、逆方向にスロー再生するには・・・

DVDディスクではさらに、逆方向にスロー再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀❚/◀❚❚ ボタンを押し続けます

DVD にて、逆方向のスロー再生の速さを変えるには・・・

スロー再生中に、◀❚/◀❚❚ ボタンを押します

押すたびに、[スロー 1] ⟷ [スロー 2]が切り換わります。

注 意

◆ スロー再生中は音声が出力されません。
◆ スロー再生できないディスクもあります。
◆ VR モードで記録された DVD-RW では、逆方向にスロー再生することはできません。
◆ ビデオ CD では、逆方向にスロー再生することはできません。

DVD やビデオ CD のコマ送り再生をする

1. 再生中に、II ボタンを押して、一時停止します

2. II▶/I▶ ボタンを押します

押すたびに、コマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

▶ ボタンを押します

DVD で、逆方向にコマ送り再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にコマ送り再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すたびに、逆方向へコマ送りをします。

注 意

- ◆ コマ送り再生中は、音声が出力されません。
- ◆ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ◆ VR モードで記録された DVD-RW では、逆方向にコマ送り再生することはできません。
- ◆ 逆方向のコマ送り再生中､映像が揺れることがあります。
- ◆ 再生方向を変更したとき､一瞬映像が動くことがあります。
- ◆ ビデオCDでは､逆方向にコマ送り再生することはできません。

WMA/MP3のフォルダーのスキップ(頭出し)をする

押した回数だけスキップします。

次のフォルダーに進むには･･･

再生中に、フォルダーサーチボタンの＋を押します

１回押すと､次のフォルダーに進みます。

前のフォルダーに戻るには･･･

再生中に、フォルダーサーチボタンの－を押します

１回押すと､前のフォルダーの始めに戻ります。

DVD、ビデオCD、CD、WMA/MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

DVDのタイトル/チャプター(場面)、ビデオCD/CDのトラック(曲)、WMA/MP3のフォルダー/トラック(曲)を繰り返し再生します。

再生中に、リピートボタンを押します

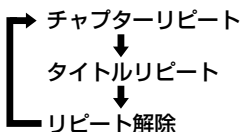
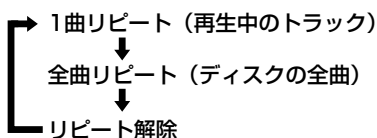
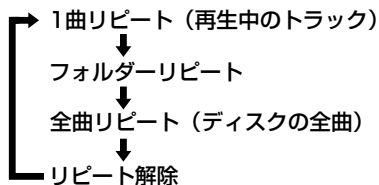
押すたびに、以下のように切り換わります。

DVD

ビデオCD/CD

1曲リピート（再生中のトラック）
↓
全曲リピート（ディスクの全曲）
↓
リピート解除

WMA/MP3

1曲リピート（再生中のトラック）
↓
フォルダーリピート
↓
全曲リピート（ディスクの全曲）
↓
リピート解除

メモ

▼ プログラム再生中(65ページ)に**リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。

注意

◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
◆ ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を**文字/数字ボタン**で入力し、それから**リピートボタン**を押します。
◆ リピート再生中にアングルを切り換える(59ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVD、ビデオCD、CD、WMA/MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

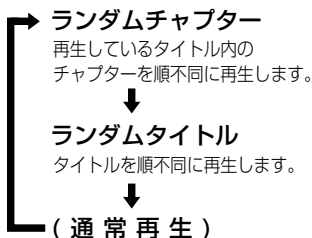
DVDを順不同に再生するには

DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生します。

1. ランダム

ランダムボタンを押します

画面に[**ランダムチャプター**]と表示されます。
表示中に**ランダムボタン**を押すと次のように切り換わります。

ランダムチャプター
再生しているタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
↓
ランダムタイトル
タイトルを順不同に再生します。
↓
（通常再生）

2. 決定

決定ボタンを押します

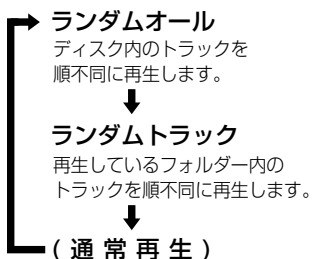
WMA/MP3を順不同に再生するには

トラック（曲）を順不同に再生します。

1. ランダム

ランダムボタンを押します

画面に[**ランダムオール**]と表示されます。
表示中に**ランダムボタン**を押すと次のように切り換わります。

ランダムオール
ディスク内のトラックを順不同に再生します。
↓
ランダムトラック
再生しているフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
↓
（通常再生）

2. 決定

決定ボタンを押します

ビデオCD、CDを順不同に再生するには

ビデオCDやCDのディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。

ランダムボタンを押します

ランダム再生を止めるには

■ボタンを押します

ランダム再生が解除され、再生が停止します。

メモ

▼ ランダム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中に|◀◀**ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

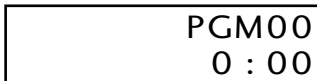
注意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を**文字/数字ボタン**で入力し、それから**ランダムボタン**を押します。
◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ VRモードで記録されたDVD-RWではランダム再生ができません。
◆ ランダム再生を繰り返してリピートすることはできません。また、ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
◆ ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。

CDやWMA/MP3の聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

CDやWMA/MP3の聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. **停止中に、プログラムボタンを押します**

PGM00
0 : 00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。CDの入力時は手順3に進んでください。

2. **WMA/MP3は、聞きたい曲のフォルダー番号の文字/数字ボタンを押してから、⇨を押します**

フォルダー7を選ぶときは、**文字/数字ボタン**の7を押してから、⇨を押します。

PGM00
7 - ALL

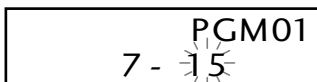
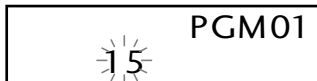
3. **聞きたい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15曲目を選ぶときは、**文字/数字ボタン**の1と5を押してから、**決定ボタン**を押します。

WMA/MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01
7 - 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01
15

4. **手順2と3を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CDのときは、手順3だけを繰り返します。

5. **►ボタンを押します**

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

手順3の後に、クリアボタンを押します

押すたびに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます。

- 停止中に**クリアボタン**を押したとき
- **DVD/CD⏏ボタン**を押して、ディスクを取り出したとき
- 電源をオフにしたとき
- MDやFM/AM放送、外部機器の操作をしたとき

メモ

- ▼ 手順2で⇨の代わりに**決定ボタン**を押すと、選んだフォルダーごとプログラム登録することができます。
- ▼ プログラム再生中に、**⏮ ⏭ ボタン**を押すと、プログラムされた前後のプログラムステップに移ります。
- ▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(56ページ)を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**（プログラムリピート再生）**
- ▼ プログラム再生をいったん停止し、再び同じ内容でプログラム再生する場合は、**PGMボタン**を押したあと、**► ボタン**を押してください。

DVD の映像のアングルを切り換える（マルチアングル）

1. アングルボタンを押します

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

	現在/総数
アングル	2/4

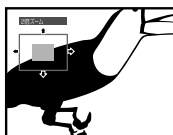
メ モ

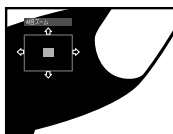
- ▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークがテレビ画面に表示されます。本体表示部は "ANGLE" が点灯します。
- ▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
- ▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の[**アングルマーク表示**]を[**オフ**]にします。(122 ページ)

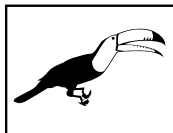
DVD の映像を拡大して見る（ズーム）

1. ズームボタンを押す

ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1 回押すと・・・

・・・2 倍に拡大！

2 回押すと・・・

・・・4 倍に拡大！

3 回押すと・・・

・・・通常の映像に戻る

2. ズームエリア表示中に ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ でズームエリアを移動する

メ モ

- ▼ 約5秒間ボタン操作がないと、左上のズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度**ズームボタン**を押してズームエリア表示してください。
- ▼ ズーム中は字幕が表示されません。
- ▼ DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

プレイモード画面でいろいろな操作をする

プレイモード画面などのテレビに表示された設定画面の操作は、以下のボタンを使用します。

ボタン	操作内容
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	ホームメニュー画面を表示します。設定中は、ホームメニュー画面をオフにします。

Q&A

Q ：プレイモード画面が表示できない

→ ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除して再生してください(37 ページ)。

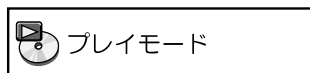
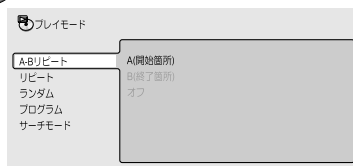
→ JPEGディスクは、プレイモード画面を表示することができません。

1. **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます**

例）X-FS7DV 画面

2. **[プレイモード]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **項目を選択します**

プレイモード
A-Bリピート / リピート / ランダム / プログラム / サーチモード
A(開始箇所) / B(終了箇所) / オフ

- **A-B リピート(61 ページ)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(61 ～ 62 ページ)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(63 ～ 64 ページ)**
  タイトルやチャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(65 ～ 68 ページ)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(69 ～ 70 ページ)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

項目を選んだら⇨**ボタン**で右へ移動します。

選んだ項目についての操作方法は、それぞれのページを参照してください。

指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

1.

再生中に、プレイモード画面から、[A-Bリピート]を選択します

60 ページを参照してください。

2.

A-B リピートを開始したい箇所で、[A(開始箇所)]を選んでから、決定ボタンを押します

3.

A-B リピートを終了したい箇所で、[B(終了箇所)]を選択して決定します

- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から 2 秒以上経過した箇所を指定してください。2秒以下の箇所を指定すると、自動的にAとBの間隔が2秒になります。
- A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して決定します

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

◆ 異なるタイトル/トラックをまたいでA-Bリピート再生することはできません。
◆ WMA/MP3、JPEGはA-Bリピート再生ができません。
◆ ファイナライズされていないCD-R/RWはA-B リピート再生ができません。
◆ リピート、ランダム、プログラム再生中はA-B リピート再生を行うことができません。

DVD を繰り返し再生する(リピート再生)

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。

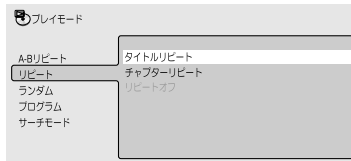
1. **繰り返したいタイトル / チャプター(場面)を再生します**

2.

プレイモード画面から、[リピート]を選択します

60 ページを参照してください。

3. **リピート再生の種類を選択して決定します**

- リピート再生を開始します。

- **タイトルリピート**
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- **チャプターリピート**
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
◆ リピート再生中にアングルを切り換える(59ページ)と、リピート再生は解除されます。
◆ ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。
◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

ビデオCD、CD、WMA/MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

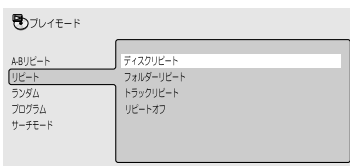
ビデオCD/CDのトラック(曲)、WMA/MP3のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

1. 繰り返したい曲を再生します

2. 再生中に 、プレイモード画面から、[リピート]を選択します

60 ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- **フォルダーリピート** (WMA MP3のみ)
  現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- **トラックリピート**
  現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

◆ ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。
◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を**文字 / 数字ボタン**で入力し、それから**リピートボタン**を押します。

応用編 ディスクを使う

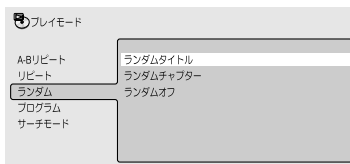
DVDを順不同に再生する（ランダム再生）

DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

1. プレイモード画面から、[ランダム]を選択します

60ページを参照してください。

2. ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

- ランダム再生を開始します。
- 本体表示窓に[RDM]と点灯します。

- **ランダムタイトル**
  タイトルを順不同に再生します。
- **ランダムチャプター**
  現在再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

メモ

▼ ランダム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。このとき、現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。
▼ ランダム再生中に|◀◀**ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

注意

◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ VRモードで記録されたDVD-RWではランダム再生ができません。
◆ ディスクを停止すると、ランダム再生は解除されます。
◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。

ビデオCD、CD、WMA/MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

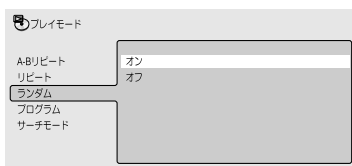
ビデオCDまたはCDのトラック、WMAまたはMP3のディスク/フォルダー内のトラックをを順不同に再生することができます。

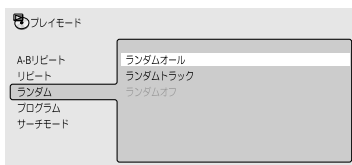
1. プレイモード画面から、[ランダム]を選択します

60ページを参照してください。

2. ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

ランダム再生を開始します。

ビデオCD CD(R/RW)の場合

- **オン**
  トラックを順不同に再生します。
- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

WMA MP3の場合

- **ランダムオール**
  現在再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。
- **ランダムトラック**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

注 意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を**文字/数字ボタン**で入力し、それから**ランダムボタン**を押します。

聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

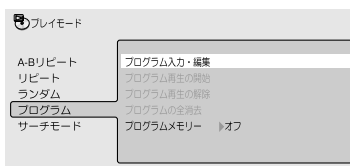
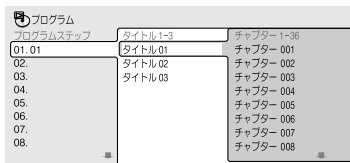
24 ステップまでプログラム登録をすることができます。

DVD のタイトルやチャプターの順番を変えて再生するには

1. プレイモード画面から、「プログラム」を選択します

60 ページを参照してください。リモコンの**プログラムボタン**を押しても操作することができます。その場合は、手順２の操作は必要ありません。

2. [プログラム入力・編集] を選んでから、決定ボタンを押します

[プログラムメモリー]はDVDのときのみ選択することができます。（67 ページ）

3. プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して決定します

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. 手順３を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムします

5. ► ボタンを押します

- プログラムした順に再生を開始します。

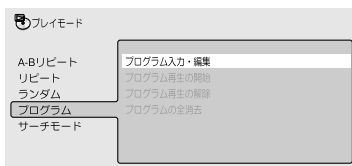
応用編

ディスクを使う

CD、ビデオCD、WMA、MP3のトラックやフォルダーの順番を変えて再生するには

1. プレイモード画面から、[プログラム]を選択します

60 ページを参照してください。

2. [プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します

3. プログラムしたいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します

ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。

- WMA MP3では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(R/RW)では、トラックのみを選択します。
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. 手順３を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムします

5. ► ボタンを押します

- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に[PGM]と点灯します。

ステップの間にプログラムを追加するには・・・

例) ステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する場合

1. カーソルをステップ 02 に合わせます

2. タイトル 1 のチャプター 7 を選んでから、決定ボタンを押します

ステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには・・・

例）ステップ 02 のプログラムを削除する場合

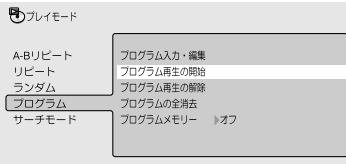
1.

カーソルをステップ 02 に合わせます

2.

クリアボタンを押します

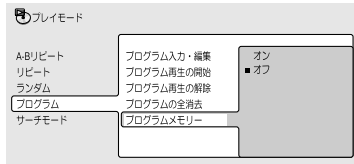
ステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったプログラムが 1 つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには・・・

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

DVD にてプログラムした内容を記憶するには・・・（プログラムメモリー）

DVD ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大 24 枚まで記憶させることができます。

1.

[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを右へ移動します

2.

[オン]を選んでから、決定ボタンを押します

プログラムメモリーを解除するときは、**[オフ]**を選択んでから**決定ボタン**を押します。

応用編 ディスクを使う

メモ

- ▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定し た並び順がプレーヤー内に記録されます。
- ▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します。
- ▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- ▼ プログラム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、次のプログラムステップのタイトル / チャプターを再生します。

注意

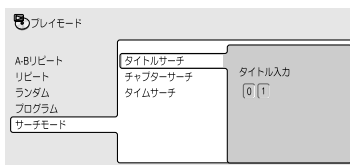
- ◆ VRモードで記録されたDVD-RWではプログラム再生ができません。
- ◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- ◆ PBC再生中のビデオCDは、プログラム入力ができません。

見たい場面を探す(サーチモード)

DVDの見たい場面を探すには

1. **プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します**

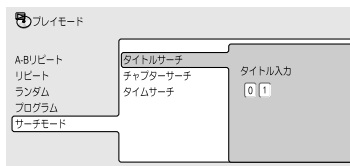
60ページを参照してください。

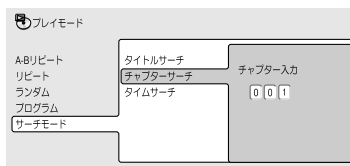
2. **サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します**

- **タイトルサーチ**
  タイトルを指定して再生する。
- **チャプターサーチ**
  チャプターを指定して再生する。
- **タイムサーチ**
  時間を指定して再生する。

3. **文字/数字ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力します**

指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

4. **決定ボタンを押します**

タイトルサーチを選択したとき･･･

たとえば、タイトル3を再生するには、3を押してから**決定ボタン**を押します。

チャプターサーチを選択したとき･･･

たとえば、チャプター12を選ぶには、1, 2を押してから**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

再生中だけの操作となります。

たとえば、
- 21分43秒を選ぶには、2, 1, 4, 3を押して**決定ボタン**を押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0を押して**決定ボタン**を押します。

メ モ

▼ DVDディスクによっては、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるものもあります。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**でディスクのメニューを表示させてサーチしてください。

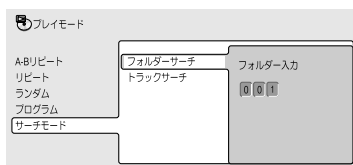
▼ タイムサーチは現在再生中のタイトルに限り行うことができます。

CD、ビデオ CD、WMA/MP3 の再生したい曲を探すには

1. プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します

60 ページを参照してください。

2. サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します

例) MP3 のフォルダーサーチ画面

- **フォルダーサーチ(WMA MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **タイムサーチ(ビデオCD のみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。

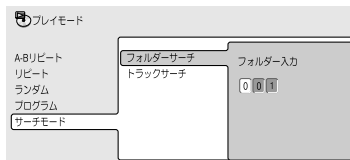
3. 文字 / 数字ボタンで再生したいフォルダー/トラック、または時間を入力します

0 〜 9

指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

4. 決定ボタンを押します

フォルダーサーチを選択したとき･･･

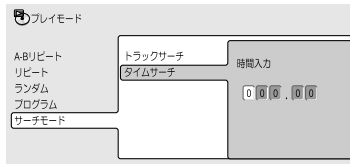
WMA/MP3 だけの機能となります。

たとえば、フォルダー３を再生するには、３を押してから**決定ボタン**を押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

例) MP3 のトラックサーチ画面

たとえば、トラック 12 を選ぶには、1, 2 を押してから**決定ボタン**を押します。
WMA/MP3は、現在再生中のフォルダ内のトラックに限り行うことができます。

タイムサーチを選択したとき･･･

ビデオ CD だけの機能となります。

たとえば、
- 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して**決定ボタン**を押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0 を押して**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q ：タイムサーチができない

→ PBC 再生中のビデオ CD、WMA/MP3、またはCD(CD-R/RW)ではタイムサーチができません。

→ タイムサーチは現在再生中のトラックに限り行うことができます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

見たいタイトルやチャプターなどを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

DVD を再生するには

1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

ホーム
メニュー

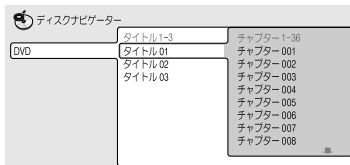
VRモードで記録したDVDでは、**DVD メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

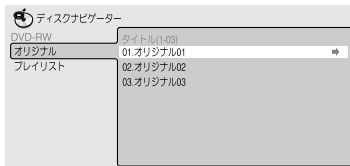
2. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

3. カーソルをタイトル、またはチャプターに移動します

ST− ST+

例)DVD のディスクナビゲーター画面

例) VR モードで記録した DVD-RW の ディスクナビゲーター画面

プレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選択して再生することができます。

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に[プレイリスト]は表示されません。
- 再生中に[オリジナル]と[プレイリスト]を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

映像を確認してから再生するには(プレビュー)
— VR モードで記録した DVD-RW のみ

停止中に確認したいタイトルを選択して⇨を押す。
タイトルの先頭の画像を表示します。

4. 再生したいタイトル、またはチャプターを選んでから、決定ボタンを押します

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

メモ

▼ **オリジナルとは**
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

▼ **プレイリストとは**
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

注 意

◆ DVD のタイトルによっては、選択できない項目があります。

CD、ビデオCD、WMA/MP3を再生するには

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

DVD メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2.

[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

 ディスクナビゲーター

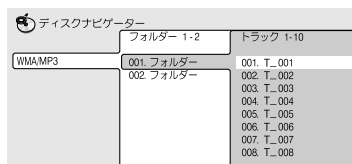
3.

再生したいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します

再生を開始します。

例) MP3 のディスクナビゲーター画面

ディスクナビゲーター

	フォルダー 1-2	トラック 1-10
WMA/MP3	001. フォルダー	001. T_001
	002. フォルダー	002. T_002
		003. T_003
		004. T_004
		005. T_005
		006. T_006
		007. T_007
		008. T_008

英数字以外の名前のフォルダーでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名「T_035」のように表示されることがあります。また、ディスクナビゲーター画面を終了するときは、**ホームメニューボタン**を押します。

JPEG を再生するには

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

DVD メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2.

[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

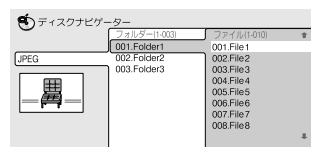
 ディスクナビゲーター

3.

再生したいフォルダーを選択します

半角英数字以外で入力されているフォルダー/ファイルの名前は[F_033]/[FL_035]のように表示されることがあります。

ファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。

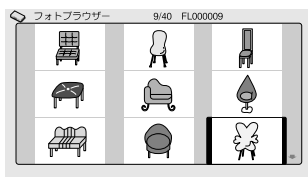
一覧(フォトブラウザー)画面を見ない場合は、手順5に進んでください。

Q&A

Q ：設定ができない

→ ビデオ CD の PBC 再生中は設定をすることができません。PBC 再生を解除して再生してください(37ページ)。ディスクの停止中に再生させたいトラック番号を**文字/数字ボタン**で入力し、それから本ページの操作を行ってください。

4. 決定

決定して、一覧(フォトブラウザー)画面を表示させます

テレビ画面に 9 枚の画像が表示されます。

- 一番下の行で ⇩ を押すと 9 枚目以降の画像が表示されます。
- ⏮ ⏭ **ボタン**を押すと画像が 9 枚ずつ切り換わります。
- ディスクナビゲーター画面に戻りたいときは、**戻るボタン**を押してください。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ホームメニュー画面をオフにします。

5.

画像を選択して、決定します

スライドショーが始まります。

メ モ

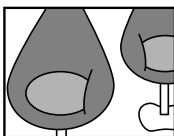
- ▼ 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- ▼ スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- ▼ ファイルサイズが大きいときは、画像の表示に時間がかかることがあります。
- ▼ JPEG ディスク再生時は、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生はできません。
- ▼ JPEG と WMA/MP3 ファイルが混在している場合は、両方のファイルを同時に再生することはできません。再生ファイルを変更するときは、**[フォトビューワー]**の設定を変更してください(126 ページ)。

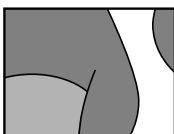
JPEGファイルを拡大・回転する

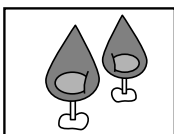
拡大するには

1. ズーム

ズームボタンを押します

1回押すと・・・

・・・2倍に拡大！

2回押すと・・・

・・・4倍に拡大！

3回押すと・・・

・・・通常の映像に戻る

2. **⇧⇩⇦⇨ で拡大する場所を移動します**

TUNE+ ST− ST+ TUNE−

メ モ

- ▼ JPEGファイルの画像をズーム中はズームエリアが表示されません。
- ▼ 画像を拡大しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。
- ▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[Loading]と表示されます。読み込み中に画像を拡大することはできません。

回転するには

1. アングル

アングルボタンを押します

押すたびに時計回りに90°画像が回転します。

メ モ

- ▼ 画像を回転しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。
- ▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[Loading]と表示されます。読み込み中に画像を回転することはできません。

DVD と MD を同時に再生する (BGM モード)

DVD の映像と MD の音声を同時に楽しむことができます。また、JPEG ディスクを使用すると効果的です。

1. 再生したい DVD と MD をセットします

2. リモコンの BGM モードボタンを押します

BGM モード

DVD と MD が再生を開始します。

- スピーカーからは、MDの音声のみが出力されます。
- BGM モード中は本体表示窓に［BGM］と点灯します。

BGM モードを解除するには

BGM モードボタンをもう一度押します

DVD と MD が停止します。

メ モ

▼ DVDは、すべての操作を行うことができます。
▼ MDは、1 曲または全曲リピート再生となります。ただし、あらかじめプログラム再生やグループ再生が設定されている場合は、そのモードでの 1 曲または全曲リピート再生となります。
▼ BGM モード中でも、再生中の DVD の音声を切り換えることができます。この場合、**BGM モードボタン**を押して BGM モード解除後、DVD を再生したときに、切り換えた音声で DVD を楽しむことができます。

注 意

◆ BGM モード中に FM・AM 放送や接続している外部機器の音を聞くと、BGM モードは解除されます。
◆ 本体の **FUNCTION ボタン**を押すか、**BGM モードボタン**をもう一度押すとBGMモードは解除され、DVDの再生を強制終了します。
◆ BGM モード中に MD を停止したい場合は、**BGM モードボタン**をもう一度押して、BGM モードを解除するか、**EJECT (MD▲) ボタン**を押して、MD を取り出してください。
◆ BGM モード中は、MD 内の好きな曲を選んだり、一時停止、早送り、早戻ししたりすることはできません。
◆ BGM モード中は、スリープタイマー以外のタイマーの設定・変更はできません。
◆ デジタル出力端子からは何も出力されません。

ディスクの情報を見る

テレビ画面にて、DVDビデオ、DVD-R/RWの情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと・・・
現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

例)DVDビデオ

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声 1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語			アングル 1

2回押すと・・・

- DVDビデオでは、現在再生中のチャプターの情報と転送レートが表示されます。
- VRモードにて記録されたDVD-RWでは、現在再生中のチャプターの転送レートが表示されます。
- 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとは限りません。

例)DVDビデオ

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート	▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮		8.1Mbps	

3回押すと・・・
表示が消えます。

テレビ画面にて、CD、ビデオCD、WMA/MP3、JPEGの情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと・・・

- CD(R/RW) WMA MP3では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- ビデオCDでは、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
- JPEGでは、現在再生中のファイルの情報が表示されます。

例) MP3のトラックの情報画面

再 生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	YESTERDAY			

2回押すと・・・

- ビデオCDでは、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- WMA MP3 JPEGでは、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- CD(R/RW)では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3のフォルダーの情報画面

再 生 ►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	MUSIC BOX	

3回押すと・・・
表示が消えます。

Q ：時間情報などが表示されない

→ ファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。

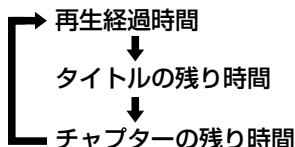
→ ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除して再生してください(37ページ)。この場合は、ディスクの停止中に再生させたいトラック番号を**文字/数字ボタン**で入力し、それから本ページの操作を行ってください。

本体表示部にて、DVDの情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

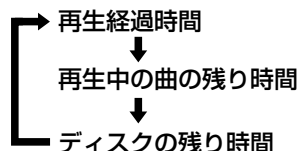
押すたびに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
タイトルの残り時間
↓
チャプターの残り時間

本体表示部にて、CDの情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

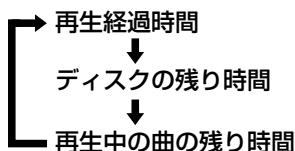
押すたびに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
再生中の曲の残り時間
↓
ディスクの残り時間

本体表示部にて、ビデオCDの情報を見るには

表示/文字

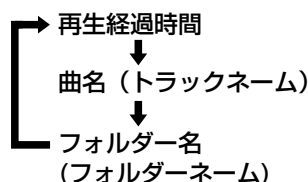
再生中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

再生経過時間
↓
ディスクの残り時間
↓
再生中の曲の残り時間

本体表示部にて、WMA/MP3の情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

注 意

◆ ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください。PBC再生を解除して再生してください(37ページ)。この場合は、ディスクの停止中に再生させたいトラック番号を**文字／数字ボタン**で入力し、それから本ページの操作を行ってください。

注 意

◆ MDへの録音中とBGMモード時は、ディスクの情報に続いて、MDの情報(100～101ページ)を見ることができます。

MDを再生する

MDを順不同に再生する（ランダム再生）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を1回ずつ再生します。

ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
RDMと点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。

ランダム再生をやめるには...

■**ボタン**を押すとランダム再生が解除され、演奏を停止します。

メ モ

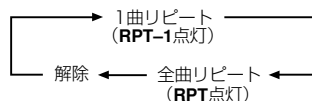
▼ ランダム再生中に▶▶I**ボタン**を押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
▼ ランダム再生中に**リピートボタン**を押すと、ランダム再生を繰り返し再生します。**（ランダムリピート再生）**

MDを繰り返し再生する（リピート再生）

再生している1曲だけを繰り返す1曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。

リピートボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

メ モ

▼ 1曲リピート中にI◀◀ ▶▶I**ボタン**を操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し再生します。
▼ ランダム再生中またはプログラム再生中は、1曲リピートは選択できません。

応用編

MDを使う

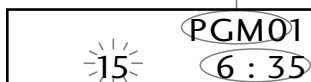
MDの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を最大30曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. **MDが停止中に、プログラムボタンを押します**

PGM00
－－－　0：00

2. **聞きたい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15曲目を選んだときは、**文字/数字ボタン**の1と5を押してから、**決定ボタン**を押します。

3. **手順2を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します**

4. **►ボタンを押します**

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

MDが停止中にクリアボタンを押します

押すたびに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム再生中に■**ボタン**を押して再生を停止させてから、⏮ または⏭ **ボタン**を押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- MD停止中に■**ボタン**を1回押したとき
- **MD取り出し(⏏)ボタン**を押して、MDを取り出したとき
- 電源をオフにしたとき
- **ランダムボタン**を押したとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(78ページ参照)を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、512'00"以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

◆ グループ再生時は、グループ内の曲のみプログラム登録することができます。

MDに録音する

CDやWMA/MP3の好きな曲だけをMDへ自動録音する

CDやWMA/MP3の曲を最大24曲まで、好きな順番でMDへ録音することができます。

1. **録音用MDをセットします**

2. **録音もとのCDまたはWMA/MP3ディスクをセットします**

3. **DVD/CDボタンを押して再生を開始してから、■ボタンを押します**

4. **プログラムボタンを押します**

PGM00
0 : 00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。CDの入力時は手順6に進んでください。

5. **WMA/MP3では、録音したい曲のフォルダー番号の文字/数字ボタンを押してから、⇨を押します**

フォルダー7を選んだときは、**文字/数字ボタン**の7を押してから、⇨を押します。

PGM00
7 - ALL

6. **録音したい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15曲目を選んだときは、**文字/数字ボタン**の1と5を押してから、**決定ボタン**を押します。

WMA/MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01
7 - 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01
15

7. **手順5と6を繰り返して、録音したい曲のフォルダーや曲番号を登録します**

CDのときは、手順6だけを繰り返します。

8. **通常録音をするときはCD-MDダイレクト録音ボタンを、2倍速録音をするときはCD-MDダイレクト録音(2倍速)ボタンを押します**

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。
録音を中止する場合は、**■ボタン**または**REC/STOPボタン**を押します。

メモ

▼ プログラム登録については、58ページも合わせてご覧ください。
▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（46ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 手順5で⇨の代わりに**決定ボタン**を押すと、選んだフォルダーの全曲を一括して選ぶことができます。
▼ 2倍速録音は、CDからのデジタル録音でのみ可能です。詳しくは44～45ページを参照してください。

FM・AM放送をMDへ録音する

MDにFM・AM放送を録音します。

1. 録音用MDをセットします

2. FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します

FM/AM
TUNER

3. REC/STOPボタンを押します

REC/
STOP

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

REC/STOPボタンを押します

メ モ

- ▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（46ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ FM・AM放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
- ▼ FM・AM放送を録音する場合は、ひとつづきの録音になります。

ディスクの好きな部分をMDへ録音する

本機にて再生できるディスクを、MDへ録音することができます。DVDやビデオCDから録音する場合は、このマニュアル操作によるアナログ録音だけとなります。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音したいディスクを、本機にセットします

3. DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の頭で、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます

DVD/CD

4. REC/STOPボタンを押します

REC/
STOP

録音が開始されます。

5. DVD/CDボタンを押して再生を開始します

DVD/CD

録音を止めたいときは

REC/STOPボタンを押します

メ モ

- ▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（46ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ DVDやビデオCDから録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

デジタル録音レベルを調整する

デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機ではCDからのデジタル録音時に調整することができます。
たとえば、複数のCDから1枚のMDに録音する場合に、ディスク間の音量レベルを合わせるときに調整します。

応用編

1. 録音用MDをセットします

本機にMDがセットされていないと、デジタル録音レベルを調整することはできません。

2. DVD/CDボタンを押して、CDの再生を開始します

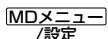
DVD/CD

3. 142ページを参照して、デジタル録音に切り換えます

お買い上げ時は、デジタル録音に設定されていますので、操作は必要ありません。

MDを使う

4. MDメニュー/設定ボタンを押します

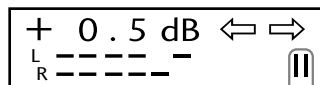
MDメニュー/設定

5. ⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

6. ⇦ ⇨ で"D.Vol"を選んでから、決定ボタンを押します

D.Vol

7. ⇦ ⇨ を押して、デジタル録音レベルを調整します

+ 0.5 dB ⇦ ⇨
L
R

この部分（10番目）のレベルに到達しないように調整します。

8. 決定ボタンを押します

決定

メモ

- ▼ 調整範囲は、MIN(–∞) ～ +18dBの範囲内です。0dBが初期値となります。
- ▼ 音量レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に"**D.VOL**"が点灯します。

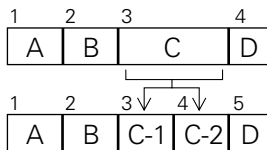
MDの編集機能について

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクを作ることができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたMD（139ページ参照）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。

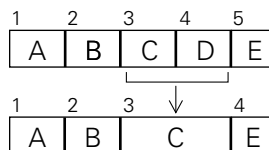
ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能） − 84〜87ページ

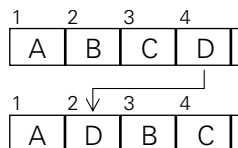
録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前を付ける機能をディスクネーム機能、曲に名前を付ける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
カタカナ、アルファベット（A〜Z、a〜z）数字、記号を使用できます。
曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、1枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド機能） − 88ページ

1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に変更されます。

Cを2つに分けて新しくC-1、C-2の2曲にした例

連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン機能） − 89ページ

C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に変更されます。

曲を移動する（ムーブ機能） − 90ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順を変えることができます。並べ変えたあとの曲番は自動的に変更されます。

4曲目のDを2曲目に移動する例

1曲だけ消す（トラックイレース機能） − 91ページ

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

ディスクの全曲を消す（オールイレース機能） − 92ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

ディスクに名前をつけるには

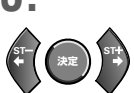
1.

MD ボタンを押してから、■ ボタンを押します

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨ で "Disc Name" を選んでから、決定ボタンを押します

Disc Name

5.

文字を入力して、ディスクに名前をつけます

文字の入力は、86 ～ 87 ページを参照してください。
入力できる文字数については、83 ページを参照してください。

6.

MD メニュー / 設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■ **ボタン**を押します。

曲に名前をつけるには

1.

⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます

再生中または録音中でも名前をつけることができます。

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨ で "Track Name" を選んでから、決定ボタンを押します

Track Name

5.

文字を入力して、曲に名前をつけます

文字の入力は、86 ～ 87 ページを参照してください。
入力できる文字数については、83 ページを参照してください。

6.

MD メニュー / 設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■ **ボタン**を押します。

グループに名前をつけるには

1. ■ボタンを押してから、98ページを参照して名前をつけたいグループを選びます

ただし、再生中または録音中に名前をつけることはできません。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦ ⇨ で"Group Name"を選んでから、決定ボタンを押します

Group Name

5. 文字を入力して、グループに名前をつけます

文字の入力は、86～87ページを参照します。
入力できる文字数については、83ページを参照してください。

6. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■**ボタン**を押します。

メ モ

▼ 再生中または録音中、曲に名前を入力している途中で次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。再生または録音が終わってからつづきを入力してください。

注 意

◆ 誤消去防止つまみが開いているMDには、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：
０１２３４５６７８９!”＃＄％＆’（）
＊＋，－./:;<=>?@_`□（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□
（空白）

応用編

MDを使う

文字を入力する

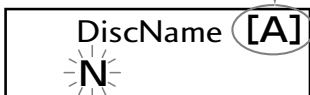
文字が入力できるモードのときに操作します。

リモコンでの入力のしかた

文字入力を終了する場合は、**MD メニュー / 設定ボタン**を押します。

1. 入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します

たとえば、大文字アルファベットが設定されているときに ハ MNO 6 を押すと、押すごとにM→N→O→と切り換わります。

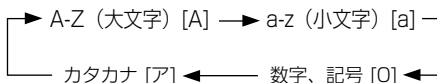
入力できる文字の種類

MDのディスクネームに、"N"を入力したときの例

表示/文字

文字の種類を変える場合は、表示 / 文字ボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → A-Z（大文字）[A]

2. 決定ボタンを押して決定します

決定

次に入力する文字の**文字/数字ボタン**が、いま押した**文字/数字ボタン**と違う場合は、この操作は必要ありません。

文字の種類 ＼ ボタン	アルファベット（大文字）	アルファベット（小文字）	数　字	カタカナ
ア 1	―――	―――	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
カ ABC 2	A B C	a b c	2	カ キ ク ケ コ
サ DEF 3	D E F	d e f	3	サ シ ス セ ソ
タ GHI 4	G H I	g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
ナ JKL 5	J K L	j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ MNO 6	M N O	m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
マ PQRS 7	P Q R S	p q r s	7	マ ミ ム メ モ
ヤ TUV 8	T U V	t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
ラ WXYZ 9	W X Y Z	w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
ワヲン記号 0	空白（スペース） . , ’ /	空白（スペース） . , ’ /	0 空白（スペース） ! " # $ % & ’ ( ) * + , — . / : ; < = > ? @ _ `	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー 空白（スペース）

文字を挿入するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を挿入する文字位置まで移動させます

2. 挿入する文字を入力します

3. 決定ボタンを押します

文字を削除するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を削除する文字位置まで移動させます

2. クリアボタンを押します

文字が削除されます。

文字を変更するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を変更する文字位置まで移動させます

2. 新しく文字を入力します

3. ⇨ を押します

曲を２つに分ける（デバイド機能）

録音後に１つの曲を２つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- 分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
- 分ける曲に曲名がついていた場合は、前の曲に名前がつきます。

例）　３曲目を２つに分ける場合

1. **再生中に曲を分ける位置でMDボタンを押します**

MD

再生が一時停止します。

2. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD　Menu

4. **⇦ ⇨ で"Divide"を選んでから、決定ボタンを押します**

Divide

Track　　3?

5. **もう一度、決定ボタンを押します**

Track　　3

デバイド機能を実行します。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。
▼ １枚のMDで最大254曲まで曲を分けることができますが、MDの状態によってはそれ以下になる場合もあります。（143ページ）

注意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（78ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（79ページ）
◆ LP4モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

連続している２つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、１曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つなぐ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

例）　４曲目と５曲目をつなぐ場合

1. **つなぐ曲の曲番号が大きい曲の再生中に、MD ボタンを押します**

再生が一時停止します。
例の場合は、５曲目で再生一時停止させます。
MD 停止中に ⏮ ⏭ **ボタン**で曲番号を選んでから操作することもできます。

2. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します**

MD Menu

4. **⇦ ⇨ で "Combine" を選んでから、決定ボタンを押します**

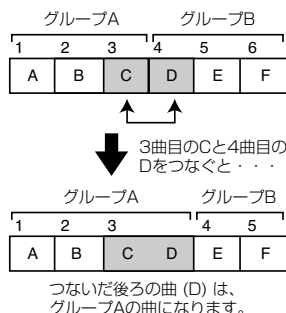
Combine

5. **もう一度、決定ボタンを押します**

TRK　4+　5?

コンバイン機能を実行します。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー / 設定ボタン**を押します。
▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（90ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。

注意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
　・通常のステレオ録音 ....8 秒以下
　・モノラル録音または LP2 録音 ... 16 秒以下
　・LP4 録音 ....32 秒以下
◆ 次の場合、コンバインの操作はできません。
　・ランダム再生が設定されているとき（78 ページ）
　・プログラム再生が設定されているとき（79 ページ）

曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。

例）８曲目を６曲目に移動する場合

1. **移動したい曲が再生中に、MDボタンを押します**

再生が一時停止します。
例の場合は、８曲目を再生中に**MDボタン**を押して再生一時停止にします。
MD停止中に ⏮ ⏭ **ボタン**で移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

MDメニュー/設定

3. **⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD Menu

4. **⇦ ⇨ で"Move"を選んでから、決定ボタンを押します**

Move

5. **⇦ ⇨ で移動先の曲番号を選んでから、決定ボタンを押します**

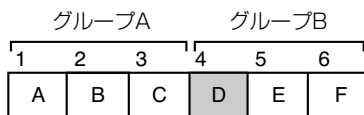
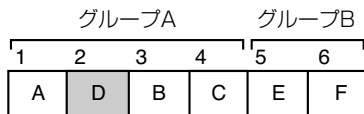
例の場合は、６を選びます。

TRK 8→ 6?

ムーブ機能を実行します。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。

▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。たとえば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループAの曲になります。

注意

◆ 次の場合、ムーブの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（78ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（79ページ）

応用編 MDを使う

1曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択したひとつの曲とその曲の名前を消します。消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例） 6曲目を消去する場合

1. MD

消したい曲の再生中に、MDボタンを押します

再生が一時停止します。
MD停止中に ⏮ ⏭ **ボタン**で移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

6　　0：02

2. MDメニュー/設定

MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD　Menu

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で"Track Erase "を選んでから、決定ボタンを押します

Track　Erase

5. 決定

もう一度、決定ボタンを押します

Track　　6?

選んだ曲を消します。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。

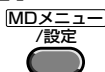
注意

◆ 次の場合、トラックイレースの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（78ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（79ページ）

全曲を消す（オールイレース機能）

ディスクの全曲を消します。
ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。

1. MDボタンを押し、■ボタンを押します

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦⇨で"All Erase"を選んでから、決定ボタンを押します

All Erase

5. もう一度、決定ボタンを押します

OK?

すべての曲とディスクネームが消えます。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

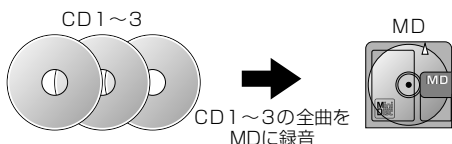
▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。

注意

◆ 次の場合はオールイレースの操作はできません。
- ・ランダム再生が設定されているとき（78ページ）
- ・プログラム再生が設定されているとき（79ページ）

MDのグループ機能について

グループ機能とは

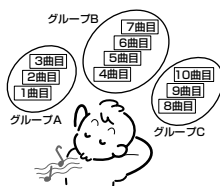
長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを1枚のMDに録音できたり、100曲以上録音できたりして便利です。

しかし・・・
「録音した3枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）－ 95ページ

● グループを登録する
MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大99個です。

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。
- グループを変更する（96ページ）
- 登録したグループを解除する（97ページ）
- 登録したグループをすべて解除する（97ページ）

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）－ 98ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。

グループA ➡ グループB ➡ グループCの先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ再生するよう設定する（グループ再生機能）－99ページ

グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の再生を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの再生だけを行なうグループプレイモードとに切り換えることができます。

グループに名前を付ける（グループネーム機能）－ 85ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類は、85ページを参照してください。最大文字数は、1枚のディスクには約1700文字まで（ディスク名、曲名、グループ名を合わせて）入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

グループ登録した MD ディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法に基づいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。

ディスクネーム「CM SONGS」

グループネーム 「グループA」 「グループB」

1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	C	D	E	F	G	H

上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。

0; CM SONGS ／／ 1 － 3; グループ A ／／ 4 － 8; グループ B ／／

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。
たとえば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMD ディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- MD の編集（88 ～ 92 ページの操作）
- グループの登録、変更、解除（95～97ページの操作）

グループディスクを作成する（グループ登録）

MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が１〜３のように連続している曲でしか行なうことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（90ページ参照）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
１枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で99個です。

> **『CDの全曲をまるごと録音しましょう』（44ページ参照）の手順で録音した場合、すでにCD一枚ごとにグループ登録されています。**

グループを登録する

例）12〜15曲目を新しいグループに設定します。

1. **MDボタンを押し、■ボタンを押します**

MD

2. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

3. **⇦⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD Menu

4. **⇦⇨で"New Group"を選んでから、決定ボタンを押します**

New Group

5. **⇦⇨でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します**

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 1?

6. **⇦⇨でグループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します**

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 15?

12〜15曲目が新しいグループに登録されました。
"Complete"と表示されると操作終了です。

注 意

- ◆ **1つの曲を複数のグループに登録することはできません。**たとえば、1〜3曲目をグループAに3〜5曲目をグループBに、というように3曲目を2つのグループに登録することはできません。
- ◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。たとえば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号を1つのグループとして登録することはできません。
- ◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録することはできません。
- ◆ 本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ再生をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。
- ◆ グループプレイ（99ページ）が設定されいるときは、グループ登録をすることはできません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1. MDの停止中にグループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

98ページを参照してください。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

MDメニュー/設定

3. ⇦⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦⇨ で"Group Edit"を選んでから、決定ボタンを押します

Group Edit

5. ⇦⇨でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10→ 15?

6. ⇦⇨で押して、グループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10→ 13?

グループ変更が実行されました。"Complete"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。

注意

◆ すでに登録されているグループと、変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合は、変更ができません。
◆ グループプレイ（99ページ）が設定されているときは、変更することはできません。

登録したグループを解除する

1.

MDの停止中にグループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます

98ページを参照してください。

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨ で"GroupCancel"を選んでから、決定ボタンを押します

GroupCancel

5.

もう一度、決定ボタンを押します

TRK 12→ 15?

グループ解除が実行されました。
"Complete"と表示されると操作終了です。

登録したグループをすべて解除する

1.

MDボタンを押し、■ボタンを押します

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨ で"GroupCancel"を選んでから、決定ボタンを押します

GroupCancel

5.

もう一度、決定ボタンを押します

All?

すべてのグループの解除が実行されました。
"Complete"と表示されると操作終了です。

注 意

◆ グループプレイ（99ページ）が設定されいるときは、グループ解除をすることはできません。

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、95ページを参照してグループ登録をしてください。

次のグループに進むには・・・

1. グループ登録されたMDをセットします

2. グループサーチボタンの＋を押します

一回押すと次のグループに進み、押した回数だけグループをスキップします。
⇧でも同様に操作できます。

前のグループに戻るには・・・

1. グループ登録されたMDをセットします

2. グループサーチボタンの－を押します

一回押すと、前のグループの始めに戻ります。
⇩でも同様に操作できます。

注 意

◆ プログラム再生が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
◆ ランダム再生中は、グループを選ぶことはできません。
◆ グループに名前が入力されていない場合は、"No Name" と表示されます。

応用編
MDを使う

選択したグループだけ再生するように設定する（グループ再生機能）

グループ登録されているMDにおいて、選択したグループだけを再生するよう、次の２つの再生モードが設定できます。

- **グループプレイ**
  グループサーチ機能（98ページ）で選択したグループ内の曲だけ再生します。
- **オールトラックプレイ**
  グループに関係なく、ディスク全体の再生を行ないます。

1.

MDの停止中にMDメニュー/設定ボタンを押します

2.

⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

3.

⇦ ⇨ で"Play Area"を選んでから、決定ボタンを押します

Play Area

4.

⇦ ⇨ でオールトラックプレイかグループプレイかを選んでから、決定ボタンを押します

- グループプレイ

Group

- オールトラックプレイ

All

グループプレイを設定した場合は、"GROUP"が点灯します。

メモ

▼ お買い上げ時は、オールトラックプレイが設定されています。
▼ 再生モードがグループプレイのときに全曲リピート再生を設定すると、繰り返し再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。
▼ 再生モードがグループプレイのときにランダム再生を設定すると、無作為に再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。

注意

◆ グループプレイに設定されていると、MDの編集作業（88～92ページ）、グループディスクの編集/作成（95～97ページ）はできません。オールトラックプレイに設定してから操作をしてください。

MDのディスク情報を見る

停止中、本体表示部にてMDのディスク情報を見るには

表示/文字

停止中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

- オールプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

ディスク名*(HIT SONGS)
ディスクの全曲数(16)/総再生時間(61'34")

```
HIT SONGS
   16   61:34
```

ディスク名*(HIT SONGS)
録音可能時間**（42'07"）

```
HIT SONGS
REC    42:07
```

- グループプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

グループの先頭曲－最終曲(24-35)
選択しているグループ内の全曲数(12)/選択しているグループの総再生時間(20'56")

```
GRP       24– 35
       12   20:56
```

グループ名*(ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

グループ名*(ALBUM BEST)
録音可能時間**（22'26"）

```
ALBUM  BEST
REC    22:26
```

- 停止中に⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、以下の表示になります。

曲名表示*（TOMORROW）
選んだ曲の曲番号(8)/再生時間(3'01")

```
TOMORROW
   8    3:01
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名*(ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

再生中、本体表示部にてMDのディスク情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

曲名表示*（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
   8    0:48
```

曲名表示*（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
   8    2:13
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名*(ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

メモ

▼ 録音中に**表示/文字ボタン**を押すと、表示内容が切り換わりますが、録音しているファンクションによって表示内容は異なります。

注意

◆ 停止中の表示で曲番号を指定した場合は、その曲がグループ登録されていないと**表示/文字ボタン**を押しても表示は切り換わりません。

* ディスク名や曲名、グループ名が入力されていない場合は、"No Name"と表示されます。

** 再生専用のMDの場合は表示されません。

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整する

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

X-FS7DV

はじめに**DVD/CDボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

1. **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます**

2. **[音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します**

 音場設定

3. **[オーディオDRC]の[オフ]、[ミディアム]、または[マックス]を ⇦ ⇨ で選択して、決定ボタンを押します**

オフ(お買い上げ時の設定)
ダイナミックレンジを圧縮せずに、ソフトに収録されたまま再生します。

ミディアム
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

マックス
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

X-FS9DV

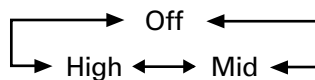
1. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

2. **⇦ ⇨ で、ダイナミックレンジコントロールの設定モードを選び、決定ボタンを押します**

押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Audio DRC

3. **⇦ ⇨ で、Off、MidまたはHighを選びます**

以下のように切り換わります。

Off (お買い上げ時の設定)
ダイナミックレンジを圧縮せずに、ソフトに収録されたまま再生します。

Mid
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

High
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

4. **決定ボタンを押します**

メモ

▼ オーディオDRCは、ドルビーデジタル音声だけに働きます。
▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。
▼ [DD Digital出力]を[DD Digital ＞ PCM](114ページ)に設定しているとき、オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも働きます。

注 意

◆ マナーモード（107ページ）がオンに設定されていると、設定を変更できません。

サラウンド再生を楽しむ

本機のような左右のフロントスピーカーだけで、臨場感のある立体音場を楽しむときに使用します。

X-FS7DV

はじめにDVD/CDボタンを押してから、以下の操作をしてください。

サラウンド(SURROUND)ボタンを押します

押すたびに、バーチャルサラウンドの[DDV/SRS TruSurround]と、[オフ]とが切り換わります。
表示窓の[SRS TS]が点灯します。

設定画面で切り換えるには

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

2.

[音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します

音場設定

3.

⇦ ⇨ で[バーチャルサラウンド]の[DDV/SRS TruSurround]、または[オフ]を選択します

オフ(お買い上げ時の設定)
働きません。
DDV/SRS TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

4. 決定

決定ボタンを押します

メ モ

- ▼ TruSurround*とバーチャルドルビーデジタルについて
  SRS TruSurroundは、SRS Labs, Inc.が開発した、2つのスピーカーでマルチチャンネルサラウンドを再生する、ドルビーラボラトリーズ社公認のバーチャルサラウンド技術です。Dolby DigitalやPro Logicのマルチチャンネル音場を、前方のステレオスピーカーだけで実現します。
- ▼ バーチャルサラウンド機能は、DTS、リニアPCM96kHz、MDの再生音、またはラジオ放送や外部入力の音声には効果がありません。
- ▼ ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。
- ▼ バーチャルサラウンドをオンに設定していると、バーチャルサラウンドの効果のままMDに録音されます。
- ▼ ヘッドホンを装着するとTruSurroundのバーチャルドルビー機能はオフとなります。
- ▼ 設定は、BGMモードの時は反映されません。

* *TruSurround、SRSと(●)®記号はSRS Labs,Inc.の商標です。*
TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

SRS(●) TruSurround

応用編

設定をする

X-FS9DV

ドルビー * ヘッドホンの設定

ヘッドホンにもかかわらず、部屋に置かれたスピーカーが再現されるように聞こえます。セリフは画面中央に定位し、音楽は前方に広がり、サラウンドの効果音も背後から聞くことができます。
お買い上げ時は、"Off" に設定されています。

ヘッドホンプラグを差している状態で、リモコンまたは本体の DDVS/DDH ボタンを押します

押すたびに[On]と[Off]が切り換わります。
[On]にすると、表示窓のが点灯します。このとき、ドルビーヘッドホンのサウンド効果を以下のように変更することができます。

サウンド効果を変更するには

ステレオ(2ch)音声を再生している(表示窓の[DDPLII]が点灯している)ときに、お聞きになるソフトのジャンルに合わせてサウンド効果を変更することができます。
お買い上げ時は、"Auto" に設定されています。

1. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**

2. **⇦ ⇨ で、プロロジックⅡの設定モードを選び、決定ボタンを押します**

PLII Mode

3. **⇦ ⇨ で、サウンド効果を選びます**

以下のように切り換わります。

- 2chのドルビーデジタルまたはＤＴＳ 信号のときはドルビープロロジックⅡムービーに設定されます。その他の2ch音声のときはドルビープロロジックⅡミュージックに設定されます。

Auto

- 映画再生に適したサウンド効果を得ることができます。

Movie

- 音楽再生に適したサウンド効果を得ることができます。

Music

4. **決定ボタンを押します**

* *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ドルビーバーチャルスピーカーの設定

左右のスピーカーだけで5.1スピーカー構成システム同様のサラウンド効果を得られます。セリフは画面中央に定位し、音楽は前方に広がり、サラウンドの効果音も背後から聞くことができます。
お買い上げ時は、"Off" に設定されています。

ヘッドホンプラグを差していない状態で、リモコンまたは本体の DDVS/DDH ボタンを押します

押すたびに[Reference]、[Wide]、[Off]と切り換わります。表示窓の[DDVS]が点灯します。

- Reference
  前方定位の幅が 2 本のスピーカーの距離で決まります。
- Wide
  2本のスピーカーの幅が狭いときに、前方定位に広がりと空間を持たすことができます。

メ モ

▼ 2倍速録音中、またはPCM96kHzを再生しているときは、ドルビーバーチャルスピーカーとドルビーヘッドホンは強制的にオフになり、設定の変更もできません。
▼ 再生する音声によっては効果の少ないものがあります。
▼ ドルビーバーチャルスピーカーやドルビーヘッドホンの効果をMDに録音することはできません。

デュアルモノの設定 (X-FS9DV のみ)

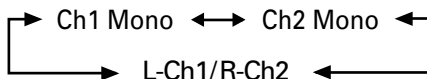
二カ国語放送をDVDレコーダーで録音したものなど、デュアルモノフォーマットの音声を切り換えることができます。
お買い上げ時は、"Ch1 Mono"に設定されています。

1. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

2. **⇦ ⇨ で、デュアルモノの設定モードを選び、決定ボタンを押します**

Dual mono

3. **⇦ ⇨ で、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します**

以下のように切り換わります。

4. **決定ボタンを押します**

音質を変えて再生する

音楽ライブが収録されたDVDや映画が収録されているDVDなど、収録されている内容によって音質を変え、よりよいサウンドを楽しむことができます。
お買い上げ時は、"Off"に設定されています。

1. **SFCボタンを押します**

SFC

押すたびに以下のように切り換わります。

- 低音、高音が強調され、映画の効果音をより楽しめる音質

Movie

- 音のメリハリが増して、音楽を聴くときに適した音質

Music

- ライブ会場のような迫力のある音質

Live

- コンサートホールのような広がり感のある音質

Hall

- セリフが明瞭になる音質

Drama

- 通常の音質

Off

注 意

◆ SFCでの音質の設定を行うと、高音(Treble)や低音(Bass)の設定は強制的に0になり、マナーモードもオフになります。
◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、**SFCボタン**による音質の変更はできません。また、**SFCボタン**による設定内容はヘッドホン使用時には無効となります。

高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。
＜お買い上げ時の設定＞
X-FS9DV ....Bass：0、Treble：0
X-FS7DV ....Bass：0、Treble：＋1

1. **サウンドボタンを押します**

2. **⇦ ⇨ で"Tone"を選んでから、決定ボタンを押します**

Tone

3. **⇦ ⇨ で"Bass"、"Treble"を選んでから、決定ボタンを押します**

- 低音の音質を調整します

Bass

- 高音の音質を調整します

Treble

4. **⇦ ⇨ で音質のレベルを調整してから、決定ボタンを押します**

調整範囲は、±５までです。

注 意

◆ 高音や低音を調整すると、SFCでの音質の設定はOff（通常の音質）になり、マナーモードもオフになります。
◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、**サウンドボタン**による音質の変更はできません。また、**サウンドボタン**による設定内容はヘッドホン使用時には無効となります。

低音を強調する

SRS Labs, Inc.が開発したTruBass*技術により、無理のない豊かな低音を再生することができます。お買い上げ時は、"**On**" に設定されています。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "SRS TB" を選んでから、決定ボタンを押します

SRS TB

3. ⇦ ⇨ で "On" または" Off" 選んでから、決定ボタンを押します

On

Off

[On]にすると、表示窓の[SRS TB]が点灯して SRS TruBass 機能が働きます。

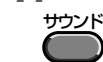
注 意

◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、**サウンドボタン**による音質の変更はできません。また、**サウンドボタン**による設定内容はヘッドホン使用時には無効となります。

* *TruBass、SRS と(●)記号は SRS Labs, Inc. の商標です。*
TruBass技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

小さい音で他人に迷惑をかけずに映画を楽しむ(マナーモード)

夜間に映画を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の効果音などの低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。
お買い上げ時は、"**Off**" に設定されています。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "Manner Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

Manner　Mode

3. ⇦ ⇨ で "On" または" Off" 選んでから、決定ボタンを押します

On

Off

注 意

◆ マナーモードをオンに設定すると、SFCモードでの音質の設定は、Off (通常の音質) になり、高音(Treble)や低音(Bass)の設定は強制的に0になります。
◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、**サウンドボタン**による音質の変更はできません。また、**サウンドボタン**による設定内容はヘッドホン使用時には無効となります。

画質を調整しましょう

1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

ホーム
メニュー

2. [画質調整]を選んでから、決定ボタンを押します

 画質調整

3. [標準]、[メモリー 1]、または[メモリー 2]を選択して、決定します

画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定が無効になります。

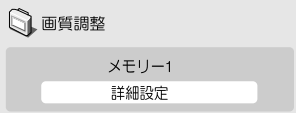
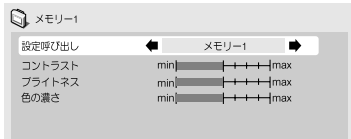
標準(お買い上げ時の設定)
ディスクに記録されているそのままの画質です。
メモリー 1/ メモリー２
お好みで調整した画質設定を記憶させることができます。手順4に進んでください。

4. メモリーの内容を変えたいときは、[詳細設定]を選択して決定します

前の設定のまま使用するときは、[メモリー 1]、または[メモリー 2]を選択して決定します。

5. ⇧⇩ で項目を選択します

メモリー1

設定呼び出し	メモリー1
コントラスト	min / max
ブライトネス	min / max
色の濃さ	min / max

表示/文字ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と 1 行表示が切り換わります。

設定呼び出し
[**メモリー 1**]、または[**メモリー 2**]に設定されている画質を選択して呼び出します。
コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ブライトネス
画面の明るさを調整します。
色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

6. 各項目のレベルを ⇦ ⇨ で調整します

7. 手順５〜６を繰り返して、すべての項目を調整して、決定します

- すでに画質設定が記憶されているときは新しく設定した内容が上書きされます。
- 設定終了後は、必ず**決定ボタン**を押してください。**決定ボタン**を押さずに終了すると、設定した内容が記憶されません。

メ モ

▼ ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
たとえば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 再生したい機器の準備をします

FM/AM
TUNER

ラジオ放送で目覚めるには...
FM/AMボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

DVD/CD

CDやWMA/MP3で目覚めるには...
ディスクをセットし、**DVD/CDボタン**を押します。

MD

MDで目覚めるには...
ディスクをセットし、**MDボタン**を押します。

L1/L2
LINE
TV

外部機器で目覚めるには...
LINE(L1/L2)ボタンまたは**TVボタン**を押して、外部機器の準備しておきます。

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンになります。

− 音量 ＋

3. タイマーボタンを押します

タイマー

4. 時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

タイマー

5. ⇦ ⇨ で"Wake－up"を選んでから、決定ボタンを押します

Wake－up

6. ⇦ ⇨ で"Timer Edit"を選んでから、決定ボタンを押します

Timer Edit

7. ⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"7 am"にします。

On 7:00am

8. ⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40"にします。

On 7:40am

9. ⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"8 am"にします。

Off 8:40am

10. ⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"15"にします

Off 8:15am

設定内容を表示し、"🕘"と"☀"が点灯します。

11. 電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

電源

タイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除／再設定するには

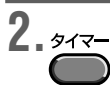
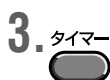
たとえば週末だけ目覚ましタイマーを解除して、月曜日からは先週と同じ内容で、目覚ましタイマーを再設定することができます。

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオンにします

2. タイマー

タイマーボタンを押します

3. タイマー

時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

4.

⇦ ⇨ で"Wake－up"を選んでから、決定ボタンを押します

Wake－up

5.

設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で "Timer Off" にします

目覚ましタイマーが解除されます。

Timer　Off

再設定する場合は、⇦ ⇨ で "Timer On" にします

Timer　On

6. 決定

決定ボタンを押します

設定内容を確認するには

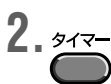
1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2. タイマー

タイマーボタンを押します

電源が入り、現時刻を表示します。

3. タイマー

時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

設定内容を表示します。

メモ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（29ページ）

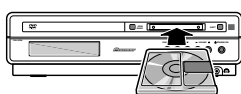
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示されません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

決めた時刻に録音する（タイマー録音）

本機の時計機能を使うと、決めた時刻にラジオ放送、または本機に接続した外部機器の録音を開始して終了させることができます。
たとえば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってMDに録音することができます。

例）午前７時40分から午前８時15分までタイマー録音する場合

1. **録音用MDをセットします**

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. **録音したい機器の準備をします**

ラジオ放送をタイマー録音するには...

FM/AM TUNER

FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

外部機器をタイマー録音するには...

L1/L2 LINE TV

LINE(L1/L2)ボタンまたは**TVボタン**を押して、外部機器の準備しておきます。

3. タイマー **タイマーボタンを押します**

4. タイマー **時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します**

5. **⇦ ⇨ で"Timer REC"を選んでから、決定ボタンを押します**

Timer REC

6. **⇦ ⇨ で"Timer Edit"を選んでから、決定ボタンを押します**

Timer Edit

7. **⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"7 am"にします。

On 7：00am

8. **⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40"にします。

On 7：40am

9. **⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"8 am"にします。

Off 8：40am

10. **⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"15"にします

Off 8：15am

設定内容を表示し、"◷"と"○"が点灯します。

11. 電源 **電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします**

タイマーインジケーターが点灯します。

応用編

タイマー

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します
再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

タイマー録音中に録音を途中で止めるには

REC/STOP ボタンを押します

設定を解除 / 再設定するには

1. 電源
電源 ⏻ ボタンを押して、電源をオンにします

2. タイマー
タイマーボタンを押します

3. タイマー
時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

4.

⇦ ⇨ で"Timer REC"を選んでから、決定ボタンを押します

Timer REC

5.

設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で "Timer Off" にします
タイマー録音が解除されます。

Timer Off

再設定する場合は、⇦ ⇨ で "Timer On" にします

Timer On

6. 決定
決定ボタンを押します

設定内容を確認するには

1. 電源
電源 ⏻ ボタンを押して、電源をオフにします

2. タイマー
タイマーボタンを押します
電源が入り、現時刻を表示します。

3. タイマー
時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します
設定内容を表示します。

メ モ

▼ MD に録音するときに、LP2 または LP4 モード（46 ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（29 ページ）
◆ タイマー録音中は、音量は MIN（最小）になり音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量は MIN（最小）のままです。タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。
◆ タイマー録音は1度行うと、設定はオフになります。そのつど設定してください。
◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約30秒前に電源が入りますので、1～10の手順を開始時刻の1分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。
◆ タイマー録音動作中の表示の明るさは、"Dark" の設定になります。（127 ページ）

決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

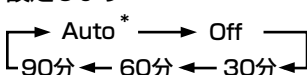
設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、30分、60分、90分の3種類と、スリープオートです。
時計を合わせていないと、スリープタイマーを使用することはできません。

1. タイマー
タイマーボタンを押します

2. タイマー
現時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

3. ST− 決定 ST+
⇦⇨ で "Sleep" を選んでから、決定ボタンを押します

Sleep

4. ST− ST+
⇦⇨で終了するまでの時間を設定します

5.
決定ボタンを押します
スリープタイマーを設定すると、表示部の "㉿" が点灯します。

* スリープオート(Sleep Auto)
CD、MDなどのディスクの再生中、またはMDの録音中に選ぶことができます。
再生または録音が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

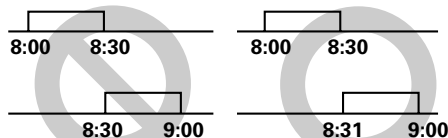
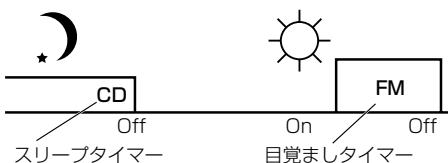
※ リピート再生しているCDやMDなどでは、Sleep Autoの設定はできません。

注 意

◆ スリープ動作中の表示の明るさは、"Dark"の設定になります。（127ページ）
◆ ビデオCDでは、PBC再生中やリピート再生中（56ページ）には、スリープオートは動作しません。
◆ DVD、JPEG再生中は、スリープオートは動作しません。

タイマーを同時に使ったとき

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合、以下の注意が必要です。

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。

◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

デジタル音声出力の設定を変更する

本機をAVアンプと接続することで、DVDなどの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しむことができるようになります。
はじめに**DVD/CDボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

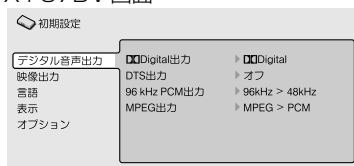
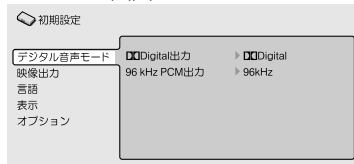
1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

ホーム
メニュー

2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [デジタル音声出力](X-FS7DV)または[デジタル音声モード](X-FS9DV)を選び、カーソルを右へ移動します

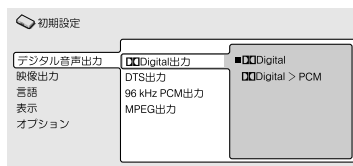
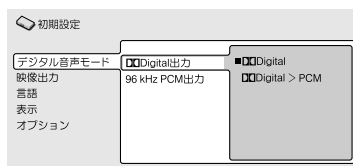
X-FS7DV 画面

X-FS9DV 画面

接続する外部機器がドルビーデジタルに対応しているとき

4. [DDDigital 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

X-FS7DV 画面

初期設定
デジタル音声出力 / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション
DDDigital出力 / DTS出力 / 96 kHz PCM出力 / MPEG出力
■DDDigital
DDDigital > PCM

X-FS9DV 画面

初期設定
デジタル音声モード / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション
DDDigital出力 / 96 kHz PCM出力
■DDDigital
DDDigital > PCM

DDDigital(お買い上げ時の設定)
ドルビーデジタル対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

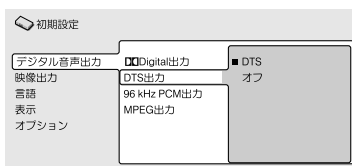
DDDigital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続したときに選択します。

メ モ

▼ ここでの設定は本システムのスピーカーやヘッドホン出力に対しても有効となります。本機のドルビーバーチャルスピーカー機能やドルビーヘッドホン機能をご使用になる場合は、設定を[**DDDigital**]にすることをお勧めします (X-FS9DV のみ)。

接続する外部機器がDTSに対応しているとき(X-FS7DVのみ)

はじめから操作する場合は、114ページの手順1～3の操作をしてください。

[DTS出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

DTS

DTS対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

オフ(お買い上げ時の設定)

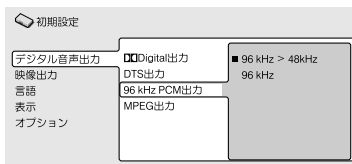
DTSに対応していない機器と接続したときに選択します。

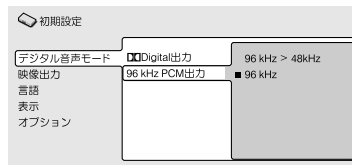
注 意

◆ DTSに対応していない機器に接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続する外部機器が96kHzに対応しているとき

はじめから操作する場合は、114ページの手順1～3の操作をしてください。

[96kHz PCM出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

X-FS7DV画面

X-FS9DV画面

96kHz > 48kHz(X-FS7DV：お買い上げ時の設定)

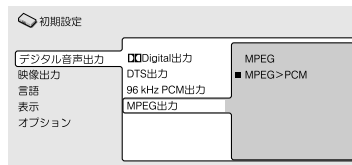
96kHzの信号を48kHzに変換して出力します。96kHzに対応していない機器と接続したときに選択します。

96kHz(X-FS9DV：お買い上げ時の設定)

96kHz対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

接続する外部機器がMPEGに対応しているとき(X-FS7DVのみ)

はじめから操作する場合は、114ページの手順1～3の操作をしてください。

[MPEG出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

MPEG

MPEG対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(お買い上げ時の設定)

MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

◆ MPEGに対応していない機器に接続しているときに[MPEG]を選択するとノイズが発生することがあります。

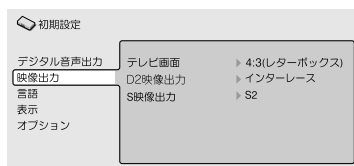
映像出力の設定を変更する

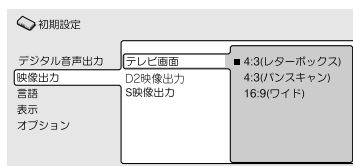
1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

 初期設定

3. [映像出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します

接続したテレビのサイズは、ワイドサイズ(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4. [テレビ画面]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

4:3(レターボックス)(お買い上げ時の設定)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式 (下記) で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式 (下記) で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は・・・

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像 4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		

応用編

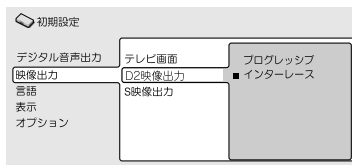
設定をする

メ モ

▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式をプログレッシブ出力に切り換えるとき

はじめから操作する場合は、116ページの手順1～3の操作をしてください。

[D2 映像出力]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

プログレッシブ

きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとD映像接続(15ページ)しているときに設定します。

- **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、戻るボタンを押してください。

インターレース(お買い上げ時の設定)

プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

メ モ

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき映像が乱れることがあります。
▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

● **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください (裏表紙)。

＊ **本機と互換性が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)**

PDP-434BX、PDP-434TX、PDP-434HD、PDP-503HD、PDP-504HD、PDP-433HD-U、PDP-433HD-S、PDP-434HD-W、PDP-504HD-W、PDP-434HDV、PDP-504HDV、PDP-503PRO、PDP-A503HD、PDP-A433HD-U、PDP-A433HD-S、PDL-30HD

注 意

◆ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子のみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続（15ページ）しているときは、**[プログレッシブ]** を選択しないでください。映像が何も出力されなくなります。選択してしまったときは、以下の方法で **[インターレース]** に切り換えてください。

1. ⏻STANDBY/ON

⏻STANDBY/ONボタンを押して、電源をオフにします

2. ■

本体の■ボタンを8秒間押し続けます

以下のように表示されます。

Mem. Clr.?

3. ⏮・◀◀　▶▶・⏭

本体の⏮・◀◀または▶▶・⏭ボタンのどちらかを押します

以下のように表示されます。

Interlace?

4. ▶/❚❚

本体の▶/❚❚ボタンを押します

電源がオンになり、映像出力の方式が **[インターレース]** になります。

S映像端子から出力される映像信号をS1に切り換えるとき

はじめから操作する場合は、116ページの手順1～3の操作をしてください。

[S映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

S1

S1映像信号が出力されます。

S2(お買い上げ時の設定)

S2映像信号が出力されます。

注 意

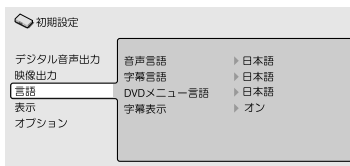
◆ 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

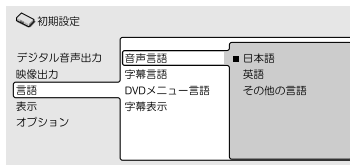
言語の設定を変更する

1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [言語]を選んでから、カーソルを右へ移動します

音声言語を変更する

4. [音声言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他の言語

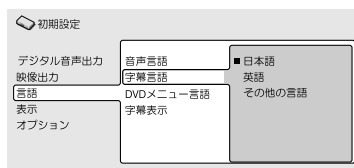
136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは 121 ページの『*字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

メ モ

▼ 音声言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

字幕言語を変更する

はじめから操作する場合は、119ページの手順1～3の操作をしてください。

[字幕言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)
日本語の字幕を表示します。

英語
英語の字幕を表示します。

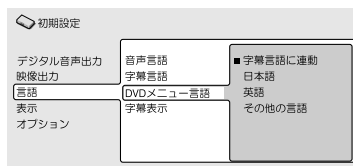
その他の言語
136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『*字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

メ モ

▼ 字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

DVD のメニューに表示する言語を変更する(DVD メニュー言語)

はじめから操作する場合は、119ページの手順1～3の操作をしてください。

[DVD メニュー言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語
日本語でメニュー画面が表示されます。

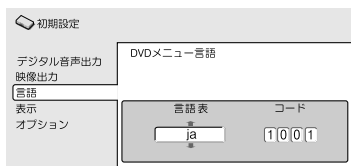
英語
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語
136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは次のページの『*字幕言語 / 音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

字幕言語 / 音声言語 /DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

154ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選んでから、決定ボタンを押します

例）DVD メニュー言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(154 ページ)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例えばフランス語を選ぶ場合は、⇧を２回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

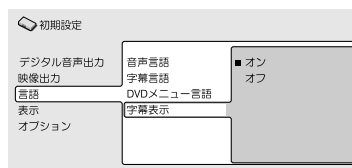
下記のいずれかの操作をします。

例えばフランス語を選ぶ場合は、

- **文字/数字ボタン**の0、6、1、8を押します。
- １ケタごとに⇧⇩で数字を選択します(⇦⇨でケタを移動します)。

字幕を表示しないようにするには(字幕表示)

はじめから操作する場合は、119ページの手順１～３の操作をしてください。

[字幕表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)
字幕を表示します。

オフ
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

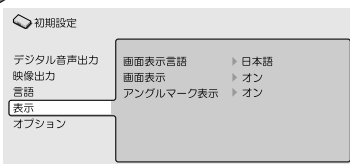
1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

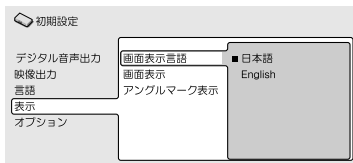
2.

[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. [表示]を選んでから、カーソルを右へ移動します

画面に表示される言語を英語にする（画面表示言語）

4. [画面表示言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
画面表示言語
画面表示
アングルマーク表示
■ 日本語
English

日本語(お買い上げ時の設定)

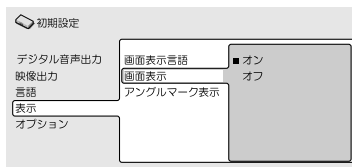
画面に表示される言語が日本語になります。

English

画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする（画面表示）

はじめから操作する場合は、左記の手順１～３の操作をしてください。

[画面表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

テレビ画面に操作表示をします。

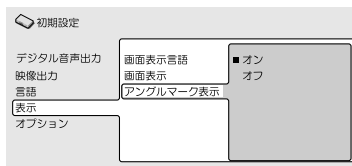
オフ

テレビ画面に操作表示をしません。

アングルマーク(　)を表示しないようにする(アングルマーク表示)

はじめから操作する場合は、左記の手順１～３の操作をしてください。

[アングルマーク表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

初期設定
デジタル音声出力
映像出力
言語
表示
オプション
画面表示言語
画面表示
アングルマーク表示
■ オン
オフ

オン(お買い上げ時の設定)

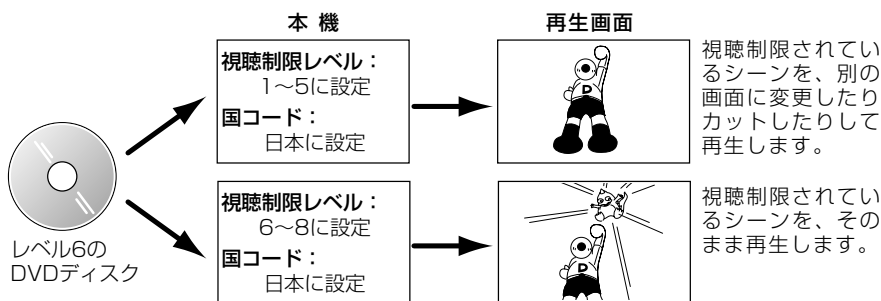
テレビ画面に　マークを表示します。

オフ

テレビ画面に　マークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限を設定する

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。たとえば本機のレベルを5に設定しておくと、レベル６のディスク（またはシーン）を再生することはできません。レベル６のディスクを再生するには、あらかじめ登録してある暗証番号を入力して、本機のレベルを６以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルに従って働く機能で、国コード＊をあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

＊国コードについて

国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

一般的な視聴制限レベルの設定（各レベルと再生できる内容について）

レベル	再生内容	
レベル1に設定すると	子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。	レベル１のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容。
レベル2～3に設定すると	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R 指定）ディスクは再生できません。	
レベル4～7に設定すると	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。	レベル４～７のディスクは中学生以下が見ることができない内容。
レベル8に設定すると	すべてのディスクを制限無しで再生することができます。	レベル８のディスクは成人しか見ることのできない内容。
「オフ」に設定すると	パレンタルレベルを「切」にします。	

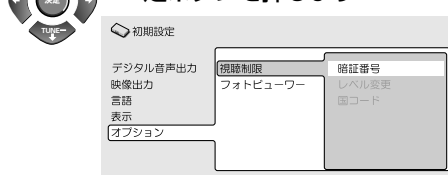
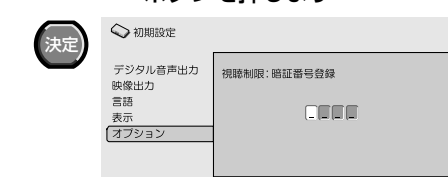
暗証番号を登録するには･･･

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため、暗証番号を設定します。暗証番号は次のようなときに必要となります。

- 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき
- ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき（視聴制限レベル一時変更）

1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させせます

2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

3. [オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します

4. 文字 / 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

視聴制限できる DVD を再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

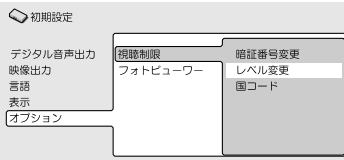
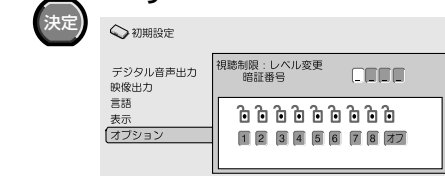
文字 / 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

メ モ

▼ 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。
▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して、再度設定してください。（153 ページ）
▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

本機のレベルを設定するには･･･

はじめから操作する場合は、左の説明の手順 1 〜 2 の操作をしてください。

1. [レベル変更]を選んでから、決定ボタンを押します

2. 文字 / 数字ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

3. レベルを選んでから、決定ボタンを押します

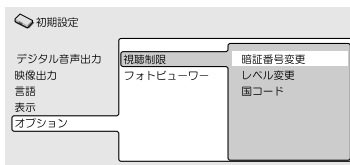
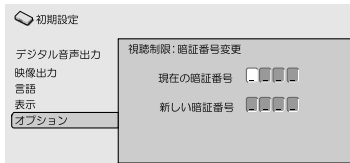
応用編 設定をする

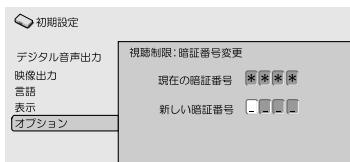
暗証番号を変更するには･･･

はじめから操作する場合は、124ページの『*暗証番号を登録するには…*』の手順1～2の操作をしてください。

1. [オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します

2. 文字/数字ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

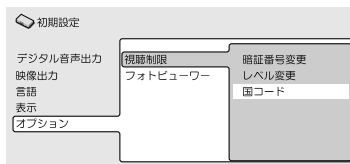
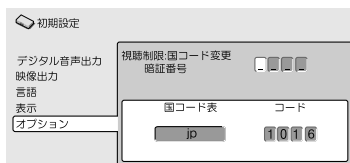
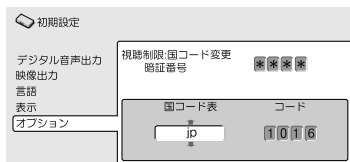
0～9
決定

3. 文字/数字ボタンで新しい暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

0～9
決定

国コードを変更するには･･･

154ページの国コード表を見ながら操作します。はじめから操作する場合は、124ページの『*暗証番号を登録するには…*』の手順1～2の操作をしてください。

1. [オプション]➡[視聴制限]➡[国コード]を選んでから、決定ボタンを押します

2. 文字/数字ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

0～9
決定

3. 文字/数字ボタンで[コード]、または⇧⇩で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

[国コード表]で変更するとき

たとえば日本を選ぶ場合は、⇧⇩で[jp]を選択します。

[コード]で変更するとき

下記のいずれかの操作をします。

例えば日本を選ぶ場合は、

- **文字/数字ボタン**の1、0、1、6を押します。(154ページの国コード表参照)

- 1ケタごとに⇧⇩で数字を選択します(⇦⇨でケタを移動します。)

4. 本体のOPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクを取り出します

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

JPEGファイルを再生するための設定をする(フォトビューワー)

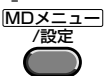
はじめから操作する場合は、124ページの『暗証番号を登録するには…』の手順1～2の操作をしてください。

[オプション]➡[フォトビューワー]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

JPEGファイル、フジカラーCD、およびコダックピクチャーCDを再生するときに選択します。

オフ

JPEGファイル以外のディスクを再生するときに選択します。JPEGとWMA/MP3のファイルが混在しているディスクのWMA/MP3を再生するときはこちらを選択します。

メモ

▼ [フォトビューワー]の設定を変更したときは、一度ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（Light）と暗い設定（Dark）に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、明るい設定（Light）になっています。

1.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

2.

⇦ ⇨　で "Dimmer" を選んでから、決定ボタンを押します

Dimmer

3.

⇦ ⇨　でお好みの明るさを選びます

明るくするときは、"Light" を選びます。

Light

暗くするときは、"Dark" を選びます。

Dark

4. 決定

決定ボタンを押します

ボリュームの設定をかえる

最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が 50 ステップのノーマルモードと、80 ステップのファインモードとがあります。
お買い上げ時は、ノーマルモードになっています。ファインモードにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. 電源

電源 ⏻ ボタンを押して、電源をオフにします

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "Volume Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

Volume　Mode

4. ST– ST+

⇦ ⇨　でボリュームの設定を選びます

ノーマルモードのときは、"Normal" を選びます。

Normal

ファインモードのときは、"Fine" を選びます。

Fine

5. 決定

決定ボタンを押します

この設定を変えると、ボリューム値は、"MIN" にリセットされます。
ファインモードの設定時にボリュームを操作すると表示窓に

Volume [F] 10

と表示されます。
(ボリューム 10 を設定した例)

応用編

設定をする

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切り換えることができます。お買い上げ時は、12 時間表示になっています。

1.

電源 ⏻ ボタンを押して、電源をオフにします

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "Hour Format" を選んでから、決定ボタンを押します

Hour　Format

4.

⇦ ⇨　でお好きな表示を選択します

12 時間表示

12–Hour

24 時間表示

24–Hour

5.

決定ボタンを押します

応用編

設定をする

外部機器の接続のしかた

本機には、外部機器の接続用の端子として、アナログ入出力端子と光デジタル入出力端子とがあります。

アナログ接続する場合

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどの音声を録音することができます。

接続のしかた

本機の**LINE1 入力端子**と接続機器のアナログ出力端子、本機の**LINE1出力端子**と接続機器のアナログ入力端子とを、それぞれ市販のピンプラグ付接続コードで接続します。

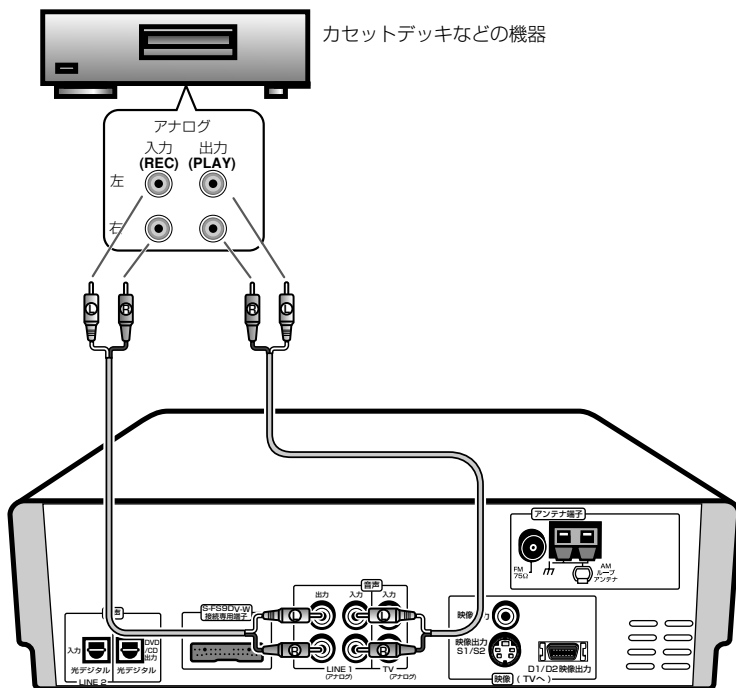
● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

アナログ入力音声を本機で聞いたり録音したりするには

L1/L2

LINE ボタンを押して "Line1" を選びます

押すたびに "Line1" と "Line2<Dig>"が切り換わります。

応用編

外部機器

デジタル出力接続する場合

AVアンプと接続して、本機で再生しているDVDの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しんだり、CD-Rなどと接続して本機のCDを録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**DVD/CD出力(デジタル)端子**と接続機器の光デジタル入力端子とを接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル出力するには

DVD/CDボタンを押します

デジタル出力される音声は、DVD/ビデオCD/CD/WMA/MP3の再生音です。

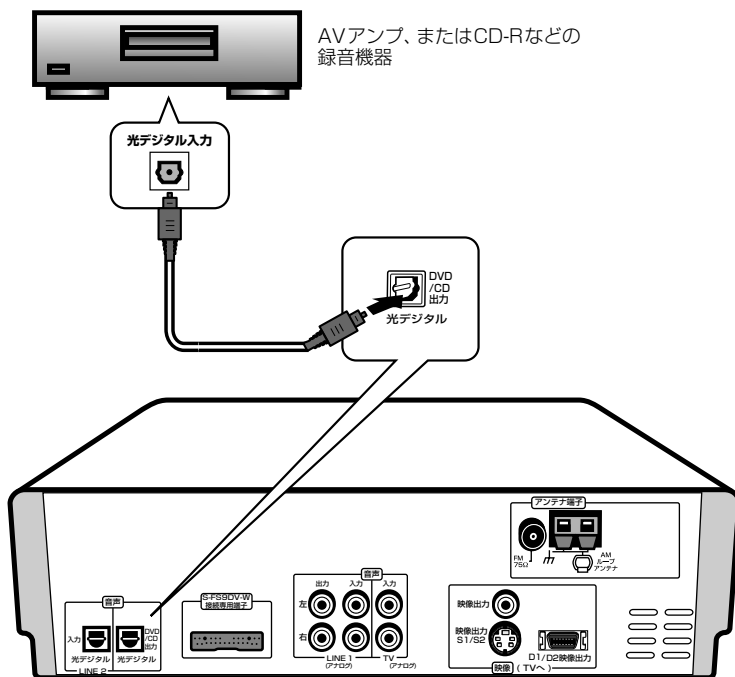
Q&A

Q：外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

→ デジタル録音されたCD-R/RWを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。(141ページ参照)

→ 本機では、MDの音声はデジタル出力されません。本機で再生したMDを録音する場合は、アナログ接続から録音してください。

注意

◆ **LINE2入力(デジタル)端子**から入力したデジタル音声を、**DVD/CD出力(デジタル)端子**から出力することはできません。

デジタル入力接続する場合

BSチューナー、CSチューナー、ゲーム機などのデジタル光出力端子のある機器を本機と接続することができます。
接続した機器の音声を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**LINE2入力(デジタル)端子**と接続機器の光デジタル出力端子とを接続します。

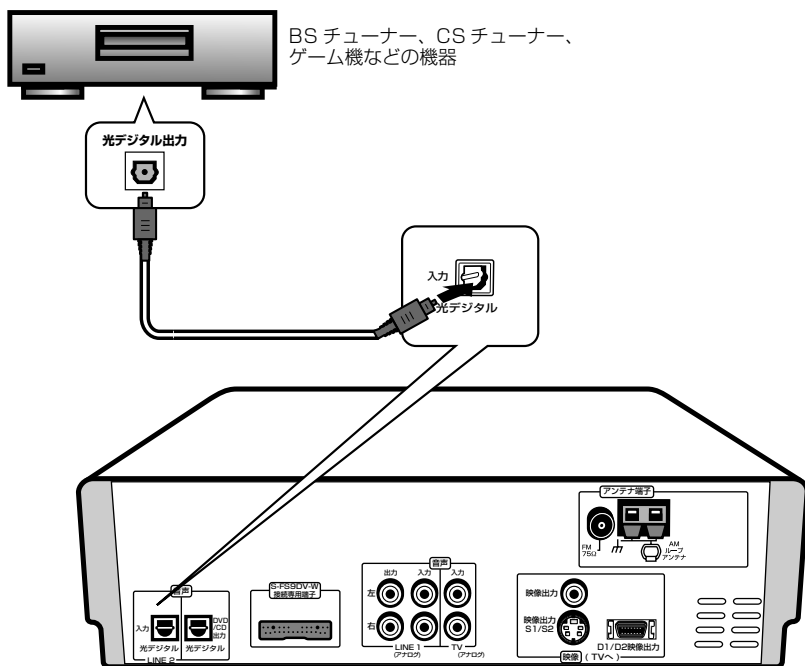
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞いたり録音したりするには

L1/L2
LINEボタンを押して"Line2<Dig>"を選びます

押すたびに"Line1"と"Line2<Dig>"が切り換わります。

メ モ

▼ X-FS7DVでは、接続した機器の光デジタル出力をリニアPCM出力に設定してください。また、X-FS7DVのデジタル入力は、ドルビーデジタル、MPEG-2 AAC、MPEG、DTSには対応していません。
▼ X-FS9DVのデジタル入力は、MPEG-2 AAC、MPEG音声には対応していません。MPEG-2 AAC、MPEG音声を聞く場合は、接続した機器の光デジタル出力をリニアPCM出力に設定してください。
▼ 本機に接続した機器の音声を光デジタル入力で録音するときは、接続した機器の光デジタル出力をリニアPCM出力に設定してください。

テレビと接続する場合

テレビと本機を接続して、テレビの音声を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることができます。

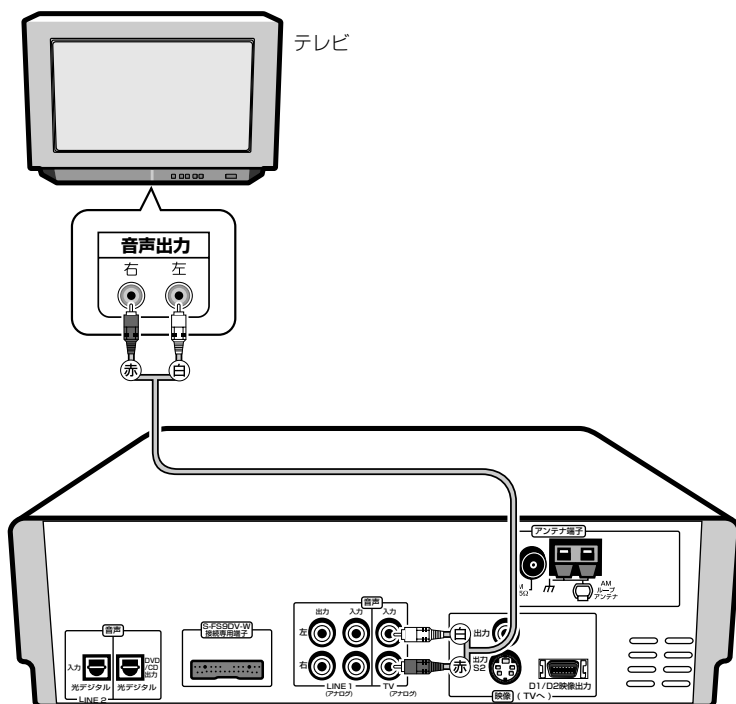
接続のしかた

市販の音声ケーブルで、本機の**TV 音声入力(アナログ)端子**とテレビの音声出力端子とを接続します。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビ

本機で聞いたり録音したりするには

TV ボタンを押します

外部機器音声の歪みを減らす

アナログLINE入力やTV入力に接続した機器を本機で聞いたときや、アナログ録音して再生すると、歪んだように感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンすると改善されることがあります。
設定すると表示部に **"Line1 ATT"** または **"TV ATT"** と点灯します。
お買い上げ時はLine1、TV共に **"ATT. 6dB"** に設定されています。

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"Line1 ATT."を選んでから、決定ボタンを押します

Line1 ATT.

4.

⇦ ⇨ でお好みのアッテネーターを選びます

X-FS9DV
"ATT. 10dB"、"ATT. 6dB"、"ATT. Off" の中から選びます。

X-FS7DV
"ATT. 6dB"、"ATT. Off" から選びます。

5. 決定

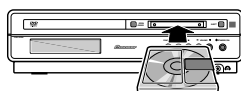
決定ボタンを押します

メ モ

▼ TV入力端子の入力信号を減衰する場合は、手順3で **"TV ATT"** を選んでください。

外部機器を MD に録音する

MDにマニュアル操作で録音をします。

1. **録音用 MD をセットします**

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. L1/L2 LINE

LINE(L1/L2)ボタンを押して、録音する外部機器の再生の準備をします

接続のしかたについては、129～132ページを参照してください。

3. REC/STOP

REC/STOP ボタンを押します

録音を開始します。
"REC" が点灯します。

4. **録音する機器の再生を開始します**

録音を途中で止めたいときは

REC/STOP ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP2またはLP4モード（46ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 手順2で **TV ボタン**を押すと、本機に接続したテレビの音声を録音することができます。接続のしかたについては132ページを参照してください。

ディスクの基礎知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク
DVD ビデオ
DVD-R *1 DVD-RW *2
ビデオ CD
CD CD-R *3 CD-RW *3
F-Disc(エフディスク) (株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。
フジカラー CD   このマークは富士写真フイルム(株)の商標です。
コダックピクチャー CD

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、SACD、CD-G、リージョンNo.が「2」「ALL」以外の DVD ビデオなど

*1 DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R ディスクを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

*2 DVD-RW ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RW ディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていない ＤＶＤ ビデオフォーマットのDVD-RWディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVD ビデオフォーマット記録、およびVRモードでの記録については144、145 ページもあわせてご覧ください。
VR モードにて記録できるディスクはDVD-RW だけです。また、VR モードで記録されたDVD-RW を本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

*3 CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、WMAやMP3の音楽データ、または JPEG の静止画像が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただしディスクよっては、「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media™ のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.8、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイル、またはサンプリング周波数が32kHzでも記録ビットレートが20kbpsのWMAファイルは[**このフォーマットは再生できません**]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(145ページ)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499フォルダー、999トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MP3の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[**このフォーマットは再生できません**]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(145ページ)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499フォルダー、999トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.1 *4 に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。

- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、499フォルダー、999ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.1、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、キズ、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。

◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。

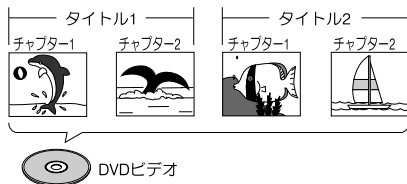
◆ 本機はファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CD フォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。

◆ 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

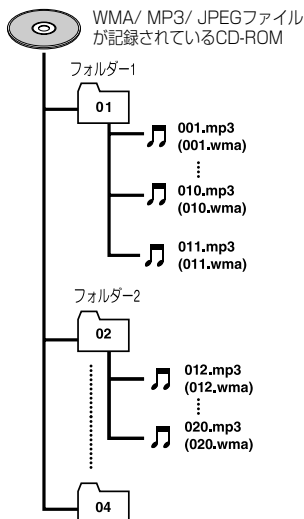
タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。

DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

トラックについて

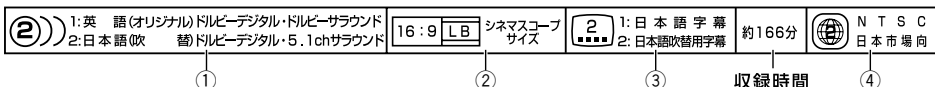
CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

WMA/MP3、JPEGについて

WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

応用編
その他

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、35 ページをご覧ください)。
上記の場合本機では、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9 の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(116 ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、35 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は２番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか**「ALL」**となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(59 ページ)。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の３つが現在主流となっています。（144 ～ 146 ページの用語解説を参照）

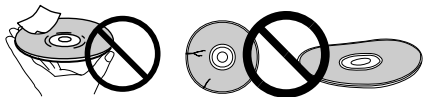
ディスクの取り扱いかた

DVD/CD ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所･極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、再生ができなくなることがあります。その場合は、クリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤なども使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどをはり付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルがはってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

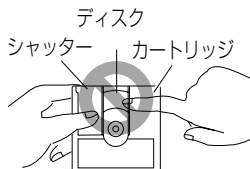
本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

MDの取り扱いかた

⚠注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けるとこわれます。
・分解しないでください。

右記マークのディスクをお使いください。

MDとは

- 直径64mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズも付きにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MDの種類について

再生専用と録音・再生用があります。

■再生専用MD（録音はできません）

CDと同じ光ディスクを使っています。

■録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。

保管

・ケースに入れて保管してください。
・次のようなところには保管しないでください。
－高温多湿の場所
－直射日光が当たる場所
－砂やホコリの入りやすい場所

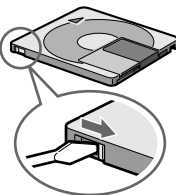
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽く拭き取ってください。

ラベルのはり付けについて

以下のことをお守りください。正しくはられていない場合、MDが取り出せなくなります。
・指定の場所(エリア内)にはってください。
・重ねてはり付けないでください。
・ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルにはりかえてください。

録音したMDを誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

MD録音の基礎知識

TOC(トック)が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC(トック):Table of Contents）が記録されています。
したがって、再生や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOC(トック)を手がかりに動作しています。
ですからMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

MD録音とテープ録音の違い

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる残り時間が確認できます。

TOCを記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

- TOC記録中は、以下の表示をします。

TOC　Write

TOCはいつMDに記録される？

- **EJECT(MD▲)ボタン**を押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき
- 編集後に再生を停止したとき

録音中に停電すると

MDへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音内容はすべて消えてしまうことがあります。
すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

MDに録音できない場合

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき
- MDの録音可能時間が残っていないとき
- "Disc Full"(ディスク フル)が表示されたとき
- TOC(トック)が異常のとき

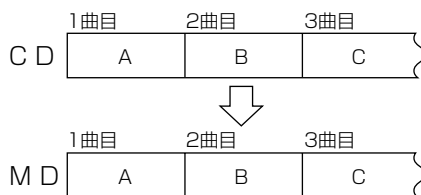
LP2、LP4録音について

本機でＬＰ2、ＬＰ4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をお勧めします。

曲番号について

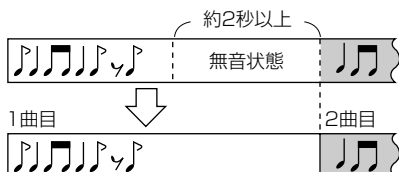
MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CDをデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし４秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

FM・AM放送を録音したとき

1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

CDやMD以外をデジタル録音したときやテープや外部機器を録音したとき

2秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに、曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。

- 信号に雑音があるときなど､録音する内容によっては､正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

アナログ録音したMDからデジタル録音したとき

MDなどについている曲番号と同じところに1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし､2秒以下の曲があるときなどは、録音もとのMDと録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号でやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは､音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために､音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが､シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で､デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は､以下の通りです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

注 意

◆ アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

CD(CD-R/CD-RW)のアナログ録音とデジタル録音を切り換える

CD(CD-R/CD-RW)から MD へ録音する場合、デジタル録音とアナログ録音とを切り換えることができます。たとえば、CD-R からの録音で "Can't REC" と表示が出て録音できない場合は、アナログ録音に切り換えてから録音します。

1. **CD(CD-R/CD-RW)をセットします**

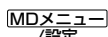
CD(CD-R/CD-RW)以外のディスクをセットすると、アナログ録音固定となり操作することできません。

2. DVD/CD ■

DVD/CD ボタンを押して再生させてから、■ ボタンを押します

3. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "Input Sel." を選んでから、決定ボタンを押します

Input Sel.

5.

ST+

⇦ ⇨ を押して、デジタルかアナログかを選びます

- デジタル録音（お買い上げ時）

Digital

- アナログ録音

Analog

6. 決定

決定ボタンを押します

アナログ録音に設定すると、表示部から "DIGITAL" が消灯します。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに "Disc Full"(ディスク フル) が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、TOC(トック)の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このような MD は、不要なトラックを消去するか全曲イレース機能を行えば、使用できます。) ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下(通常のステレオ録音で録音時)の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(通常のステレオ録音で約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
残り再生時間や総再生時間が、実際の再生時間と一致しないことがある。	計算処理の制約により、誤差が生じる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525i など)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル *1 DOLBY DIGITAL
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル (5.1ch サラウンド) で記録されているソフトとは、５つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。

*1 *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

ドルビープロロジックⅡサラウンド再生
ドルビープロロジックⅡは、ドルビープロロジックを更に改良し、ステレオ音声を5.1chに拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン5chを作り出します。CDのような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。本機には、この技術を使ったドルビーバーチャルスピーカーやドルビーヘッドホンの機能があります。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。そのあと、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

プレイバックコントロール (PBC)
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525p など)表記します。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No. [2] [ALL]
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM
音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DTS ＊2 dts DIGITAL OUT (X-FS7DV) dts VIRTUAL (X-FS9DV)
DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater Systems）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。

＊2 “DTS”、“DTS Virtual” 及び “DTS Digital Out” は米国Digital Theater Systems, Incの登録商標です。米国Digital Theater Systems, Incの実施権に基づき製造されています。

DVD ビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2時間)があります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルーカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

JPEG
JPEGとは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1映像出力
S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。

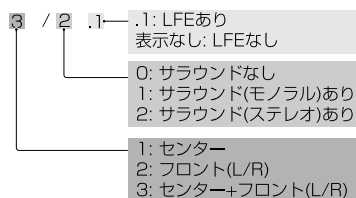
S2映像出力
S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

WMA
「Windows Media™ Audio」 の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.8またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CHの場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1チャンネル[1CH×0.1*2＝0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

テレビ画面には下記のように表示されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
	すべてに共通	
システムケーブル、コード類を接続したあとに、電源ボタンを押しても電源が入らない。	• 初めて設置する際、システムケーブルやコード類を接続したあとに⏻**電源ボタン**を押しても電源が入らずタイマーインジケーターが点滅しているときは、一旦電源コードを抜いてから付属のシステムケーブルやコード類が正しく接続されているかを確認してください。そのあと電源コードを差し込み、1 分間待ってからもう一度⏻**電源ボタン**を押してみてください。それでも電源が入らないときは、お近くのサービスステーションに連絡してください。	
音が出ない。	• 電源コードが外れています。電源コードを正しく接続してください。 • すべてのコードが完全に接続されていません。接続のしかたを参照して、正しく接続してください。	**17** **14-17**
音量を調節しても音がなかなか小さくまたは大きくならない。	• ボリューム設定が“**Fine**”になっています。ボリューム設定を“**Normal**”にしてください。	**127**
スピーカーからノイズが出る。	• 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。	
サウンドボタンが効かない。	• ヘッドホンを使用していませんか？ヘッドホンの使用中はサウンドボタンを使用して設定する機能は無効なので禁止されています。	
SFCボタンが効かない。	• ヘッドホンを使用していませんか？ヘッドホンの使用中は SFC 機能は無効なので禁止されています。	
ドルビーバーチャルスピーカー機能またはドルビーヘッドホン機能が設定できない。	• 2 倍速録音中は設定できません。 • ソースがリニアPCM96kHzのときは設定できません。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD/CD 関係		
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず**電源ボタン**を押して、表示窓の[See you!]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	• **■ ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
DTS音声が出力されない。 (X-FS7DV のみ)	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS 以外の音声を選んでください。 • 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS 出力]**の設定を**[オフ]**にしてください。ノイズが発生することがあります。 • DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	35 115 130
画面に**[本機のスピーカーからは、DTSの音声は出力されません]** と表示された。 (X-FS7DV のみ)	• 本機では、スピーカーやヘッドホンからは、DTSの音声を出力することができません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの**音声ボタン**でDTS以外の音声を選んでください。	35
DTSを録音しても無音になる。	• 本機では、DTS を録音することができません。**音声ボタン**で DTS 以外の音声を選んでください。	35
スピーカーから音が出ない。	• ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	138
DVDとCDで音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
外部機器として接続したAVアンプなどから音が出ない。	• 本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ・ビデオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • **[デジタル音声出力]**の設定により、音が出ないことがあります。 • **[96kHz PCM出力]**の設定が**[96kHz]**になっていませんか？リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているディスクがあります。 • 接続したAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？	129-130 129-130 114-115 115
映像が映らない。	• 映像出力端子またはS1/S2映像出力端子のみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択すると映像が正常に出力されません。**[インターレース]**に切り換えてください。	117-118
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。 • 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このようなときは**[S映像出力]**の設定を**[S1]**にしてください。	116 118
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	15
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
CD、WMA/ MP3が再生できない。	• **[フォトビューワー]**の設定を**[オフ]**にしてお試しください。	126
JPEGファイルが再生できない。	• **[フォトビューワー]**の設定を**[オン]**にしてお試しください。	126

症状	原因 / 対策	参照ページ
MD 関係		
録音ができない。	• MD が誤消去防止状態になっています。誤消去防止ツマミを閉じてください。 • 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。新しい録音用 MD と交換してください。 • Disc Fullになっています。不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD と交換してください。	139 140
2 倍速録音ができない。	• アナログ録音設定になっています。デジタル録音設定に切り換えてください。	142
モノラルで録音されてしまう。	• モノラル長時間モードになっています。長時間録音モードを通常のステレオ録音にしてください。	46
MDを入れても“No Disc”や“Error”が表示される。	• ディスクにキズが付いています。新しい MD に交換してください。	
再生音がとぎれる。	• 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？平らな安定した場所に移し変えてください。 • 結露現象が起きています。１時間ほど放置してから使用してください。	155 155
録音したときに音が歪む。	• LINE入力信号が大きすぎます。入力アッテネーターを“ATT. 10dB”または“ATT. 6dB”にしてください。 • 録音レベルが大きすぎます。デジタル録音レベルを小さくしてください。	133 82
録音したときに音が小さい。	• 録音レベルが小さすぎます。デジタル録音レベルを大きくしてください。 • 入力アッテネーターが“ATT. 10dB”または“ATT. 6dB”になっています。入力アッテネーターを“ATT. Off”にしてください。	82 133
グループ機能が使えない。	• グループディスクと認識されていません。または、グループ機能がない機器でディスク名を変更しています。ディスク名を消去してグループを登録しなおしてください。	95
本機でMDLP録音したMDが他の機器で再生できない。	• 再生しようとしていた機器が、MDLP対応ではありません。MDLPで録音したMDは、MDLP対応機器にて再生してください。	
2 つの曲をつなぐ（コンバイン）ができない。	• デジタルとアナログで録音された曲をつなごうとしています。デジタル（アナログ）で録音された曲はデジタル（アナログ）録音された曲同士つないでください。 • MDLPにて、違う録音モードで録音した曲同士をつなごうとしています。MDLPの同じ録音モードで録音した曲同士つないでください。	 46

症状	原因 / 対策	参照ページ
	放送関係	
放送が聞こえない、聞こえにくい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	14, 16, 18-19 18
放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部の“○”（モノラルインジケーター）が点灯していませんか？FM放送の受信設定をAutoにして、“○”を消灯してください。	49
	その他	
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	29
リモコンが効かない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	7 7 20-21
テレビなどが誤動作する。	• ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
LINE に接続した機器からの音が歪む。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを“ATT. 10dB”または“ATT. 6dB”にしてください。	133
タイマーインジケーターが点滅して電源が入らず、何の操作もできない。	• 初めて設置する際、システムケーブルやコード類を接続したあとに⏻**電源ボタン**を押しても電源が入らずタイマーインジケーターが点滅しているときは、一旦電源コードを抜いてから付属のシステムケーブルやコード類が正しく接続されているかを確認してください。そのあと電源コードを差し込み、1 分間待ってからもう一度⏻**電源ボタン**を押してみてください。それでも電源が入らないときは、お近くのサービスステーションに連絡してください。 • 上記以外の場合でタイマーインジケーターが点滅しているときは、お近くのサービスステーションに連絡してください。	

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

こんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	意味	このようにしてください
Blank Disc	音楽が何も記録されていない。	再生する時は、録音されたMDと取りかえる。
Can' t REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 CD-R など録音禁止処理されているCDをMDに録音しようとした。	録音をやり直すか、MD を交換してください。 録音禁止処理されていないCD に取りかえてください。
Can' t REC DTS	DTS は録音できない。	DTS以外の音声を選んで録音する。
Can' t Edit	編集できない。	もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直してください。
No Disc	MD が入っていない。 MD のデーターが読めない。	MD を入れてください。 MD をもう一度入れ直してください。
Disc Full	MD に録音できる空きがない。	他の録音用 MD と取りかえてください。
Name Full	ディスク、曲名、グループ名の合計が 1700 文字を超えている。 ディスク、曲名または、グループ名が 100 文字を超えている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。 ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
Premasterd	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用 MD と取りかえる。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
Disc Error TOCRead Err	ディスクにキズがついている。 記憶されている TOC 情報が MD の規格に合ってなかったり読めない。	MD をもう一度入れ直してください。 他の MD と取りかえる。または、オールイレースをしてから録音をやり直してください。
Mecha Error	MD が正しく働いていない。	電源を切ってから再度電源を入れる。
TRK. Protect	該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	MD を取りかえる。
D. In Unlock	デジタル入力なのに正常な信号が入力されていない。	デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。
Retry Error	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	録音をやり直すか、MDを交換してください。
96k Stereo	以下の状況でドルビーバーチャルスピーカーあるいはドルビーヘッドホンをオンにしようとした。 • 96kHz PCM 再生中 • 2 倍速録音中	• 96kHz PCM 以外の音声を選ぶ • 2 倍速録音の終了を待つ

ディスクテーブルの開閉ができないとき

[本体表示部] Tray Lock

DVD/CD▲ ボタンを押したときに上記の表示が出た場合、DVD/CD▲ ボタンを8秒以上押して「Lock Off」を表示させると、ディスクテーブルを開閉することができます。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. **⏻STANDBY/ON ボタンを押して、電源をオフにします**

⏻STANDBY/ON

あらかじめディスクは取り出しておきます。

2. **本体の ■ ボタンを8秒間押し続けます**

■

以下のように表示されます。

Mem. Clr.?

3. **本体の ▶/II ボタンを押します**

▶/II

自動的に電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。

◆ HCMSメモリ(45ページ)は初期化されません。

メ モ

▼ 初期化すると、26ページの画面が最初に表示されます。

DVDの初期設定一覧

音場設定 (X-FS7DVのみ)

画質調整

初期設定

X-FS9DVについて

*1 項目名が[デジタル音声モード]となります。

*2 [DTS出力]、[MPEG出力]の項目はありません。

*3 [96kHz PCM出力]のお買い上げ時の設定は[96kHz]です。

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

取り扱いの注意

使用上の注意

本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに**電源 ⏻ ボタン**を押し、表示窓の[See you!]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に水滴が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

設置上の注意

- 組み合わせて使用するテレビの近くの安定した場所を選んでください。また、次のような場所には設置しないでください
  ・湿気の多い所や風通しの悪い所・極端に暑い所や寒い所 ・振動のある所・ホコリの多い所・ 油煙、蒸気、熱などが当たる所（台所など）
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機のスピーカーシステムは防磁設計（JEITA）ですので、テレビと組み合わせても色ムラが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによって色ムラが生じる場合がありますが、そのときは一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。そのあとも色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- 本機の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。
- 本機の上に物を載せると、変形してしまう可能性がありますので載せないでください。
- パワードサブウーファーは放熱をよくするため、壁などから後方向15cmの間隔をとり、通風スペースを確保してください。

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、裏表紙の修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき

147 ～ 152 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD/MD ミニコンポーネントシステム
- 型番：X-FS9DV, X-FS7DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

DVD/MD TUNER部

FMチューナー部

受信周波数 .... 76.0～90 MHz、TV1, 2, 3 ch音声
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AMチューナー部

受信周波数 .... 522 kHz～1,629 kHz
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

DVDプレイヤー部

周波数特性 (音声) .... 4 Hz～44 kHz
(96 kHzサンプリング)
.... 4 Hz～22 kHz
(48 kHzサンプリング)

映像出力 :
出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... RCA端子

S2映像出力 :
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 .... S端子

D2映像出力 :
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
Cb/Pb、Cr/Pr出力レベル
.... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... D端子

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

その他

外形寸法 .... 320 × 86 × 275 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 3.5 kg

スピーカーシステム部

パワードサブウーファー部

外形寸法 .... 142 × 282.5 × 318 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 6.5 kg

■ サブウーファー部

型式 .... バスレフ方式 フロア型、
防磁設計(JEITA)
使用スピーカー .... 12 cm コーン型
公称インピーダンス .... 4 Ω（各端子）
再生周波数帯域 .... 35～15.000 Hz
最大入力 .... 25 W（JEITA、各端子）

■ アンプ・電源部

実力最大出力 (JEITA 4 Ω) .... 25 W＋25 W
電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品安全法）
(DVD/MD TUNER部とのシステム接続動作時)
X-FS9DV .... 79 W
X-FS7DV .... 77 W
待機時消費電力
(DVD/MD TUNER部とのシステム接続待機時)
.... 0.065 W

X-FS9DVスピーカー(サテライトスピーカー)部

型式 .... 密閉式 ブックシェルフ型、
防磁設計(JEITA)
使用スピーカー
.... 8.7 cm コーン型、5.2 cm コーン型
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 90～20.000 Hz
最大入力 .... 25 W（JEITA）
外形寸法 .... 120 × 283 × 48.5 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 0.7 kg

X-FS7DVスピーカー(サテライトスピーカー)部

型式 .... 密閉式 ブックシェルフ型、
防磁設計(JEITA)
使用スピーカー .... 8.7 cm コーン型
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 100～20.000 Hz
最大入力 .... 25 W（JEITA）
外形寸法 .... 120 × 230 × 59.5 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 0.9 kg

付属品

＊ スピーカー部と一緒に梱包されています。

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿３丁目20番２号
東京オペラシティタワー 11F
電話（03）5353 －0336
FAX（03）5353 －0337

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font AvenueはNECの登録商標です。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

音のエチケット

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、上記の修理受付センターでお受けします。
（沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします）

●サービスステーションの記載内容は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
また、認定店は、不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX/TEL	番号	郵便番号	住所
☆札幌サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西 20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町 2-18-7

●東北地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX/TEL	番号	郵便番号	住所
☆仙台サービスステーション	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田 20
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波 1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX	019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目 346-1
郡山サービスステーション	FAX	024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦 1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区（１）

受付　月～土　９：３０～１８：００（日・祝・弊社休業日は除く）

名称	FAX/TEL	番号	郵便番号	住所
世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX	03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原 4-27-9　中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX	03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸 4-11-14
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町 4-18-1　エクセル立川 1F

●関東・甲信越地区（２）

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX/TEL	番号	郵便番号	住所
新潟サービスステーション	FAX	025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種 1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX	043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部 1369-1　椎の実ハイツ 1F
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園 2-2-6
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町 307-4
☆埼玉サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX	049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町 1191-17　パサージュ 808 伊勢崎 101号
☆神奈川サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX	045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX	046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1　金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX	0263-48-2768	〒390-0852	松本市大字島立 180-5
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14

●中部地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

名称	FAX/TEL	番号	郵便番号	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田 36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX	054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX	0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町 1-14-26
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415　ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX	076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府１丁目 178
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9

●関西地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

☆大阪サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052 吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322 堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX 06-6453-5666	〒531-0076 大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021 和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX 075-682-7176	〒601-8448 京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055 福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX 078-251-7173	〒651-0086 神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224 姫路市別所町佐土4-2

●中国地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

☆広島サービスステーション	FAX 082-248-9939	〒730-0041 広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006 周南市花畠町3-11　森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815 福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX 086-244-8748	〒700-0975 岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017 松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX 0857-29-1290	〒680-0061 鳥取市立川町5-240-1

●四国地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）

高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078 高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023 徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下１階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051 高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX 089-951-6270	〒791-8067 松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００

☆福岡サービスステーション	FAX 092-412-7460	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006 福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145 長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918 熊本市花立５丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-549-2420	〒870-0851 大分市大石町５丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX 093-951-1748	〒802-0011 北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX 099-224-7692	〒892-0841 鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821 宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区（沖縄県のみ）

受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL 098-879-1910 FAX 098-879-1352	〒901-2122 浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ

平成１６年２月現在　　(ARY-1127-A)

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を１度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●ホームページ　商品に関する「よくあるお問い合せ」FAQのご案内　http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口	００７０－８００－８１８１－１１
一般電話	【一般電話】０３－５４９６－８０１６
●家庭用オーディオ／ビジュアル製品（PDP・DVDなど）のご相談窓口	００７０－８００－８１８１－２２
一般電話	【一般電話】０３－５４９６－２９８６
●カタログのご請求窓口	００７０－８００－８１８１－３３
カタログ請求とメールサービス登録のご案内	http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html
●ファックス受付	０３－３４９０－５７１８

家庭用電話機に関するご相談窓口
受付　月曜～土曜・日曜・祝日 ９：３０～１７：３０（弊社休業日は除く）
●パイオニアコミュニケーションズ（株）　お客様相談室
東日本地区（埼玉県所沢市）０４－２９４９－５１３１　西日本地区（大阪市）０６－６５３３－００９９　ファックス　０４－２９４９－５５０１

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９５　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９６
一般電話　０５３８－４３－１１６１

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～２０：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２８（ゴーパイオニア）　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話　０９８－８７９－１９１０　ファックス　０９８－８７９－１３５２

平成１６年２月現在　(ARY-1127-A)

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号
<ARA7201-A>